## ー平成 28 年度環境省地域活性化に向けた協働取組の加速化事業ー 最終報告書

付録 3:協働ギャザリング 2017(年度末報告会)
-「プロジェクト・マネジメント」と「協働ガバナンス」の評価
(個別案件)

## 【付録 3:「プロジェクト・マネジメント」の評価と「協働ガバナンス」の評価(個別案件)】 協働ギャザリング 2017 年度末報告会)における指摘事項

## 【表付録 3-1:協働ギャザリング参加者の評価コメントに基づく「プロジェクト・マネジメント」(事業)/「協働ガバナンス」(協働)の有効性(プラス評価点)】 ※[]内は採択された協働取組事例

		プラス評価点
	効率性	● 大学連携チームの参画→協働への貢献。[1]
		● 外部の意見を入れてきたのは新しい視点が入っていい。[1]
		● 内外のつなぎ役がいることで、内目線と外目線がリンクする。[1]
		● 他の地方からの人にまず大沼を実際に見てもらったこと。[1]
		● キーマンだけど難しい人に参画してもらうための会議戦略がすごい。[1]
		● 非常に多様な(地域も全国の)人の意見(風)を取り入れていること[1]
		<ul><li>● 個々人の承認欲求を考えることがマッチングのポイント。[1]</li></ul>
		● ちゃぶ台返しを防ぐための会議対策はとても有用だと思う。分科会や女子会など。[1]
		● 課題をしつかり話し合い、違う世代の意見を取り入れた。[1]
	効果/目標達成度	<ul><li></li></ul>
	737K - 1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	
		<ul><li>◆ 人間関係にメス!を入れる。[1]</li></ul>
	計画妥当性	<ul><li>人間関係にメス!を入れる。[1]</li></ul>
		<ul><li>いろいろな作戦を立てたところは良いと思います。1つでは、つまる可能性が大きい。</li></ul>
		● 人間模様を改善させるシナリオ。「1]
		● 場をつくる、言葉をつくる、良い。[1]
	関係主体の巻込度	● アカデミック+地域へのアプローチ。[1]
		● 200件のアンケート調査を通じたニーズ分析がいい。[1]
F . 7		<ul><li>◆ 外部と内部のつなぎにアオコ問題をとりあげたところ。[1]</li></ul>
[1]		● 外部の人に現場をきちんと見て意見をもらえるようにしたこと。[1]
北		● スムーズかつ参加度の高い会議進行のための作戦がいくつもあることがよい。[1]
海		● 課題をしっかり話し合い、違う世代の意見を取り入れた。[1]
道		● これまで関わっていた主体を尊重しながら、会議を分けるなどして効率的に実施した点
国	±	[1]
際 交	事 業	● ラムサール女子会などの女性を入れることにより会議の進め方が変わってくる。[1]
流		● ユースと女子会がいい。[1]
七		● 漁協=背広を着たオジサンのイメージ。女子を入れるのはいいですね。[1]
ン		● 若い力と女子の力、外人パワーなど、アオコ問題に異種若者を投入した活力はすばら
タ		しい。[1]
		● マルチステークホルダーの取り組み、元気がいい印象。[1]
1		● 多様な人々に参加してもらうプラットフォームづくりができている。[1]
		● 料理や体験などの一般向けアプローチ。[1]
	関係主体の満足度	● 科学を取り入れながら楽しい活動をしている。[1]
		● 楽しく多くの人たちを集めている。[1]
		● 個々人の承認欲求を考えることがマッチングのポイント。[1]
		● スムーズかつ参加度の高い会議進行のための作戦がいくつもあることがよい。[1]
		● 市民団体と行政の会議は、まとまらない点に着目したのが良い。[1]
		● マルチステークホルダーの取り組み、元気がいい印象。[1]
	11 0 16 10 0 61	● 多様な人々に参加してもらうプラットフォームづくりができている。[1]
	社会的インパクト	● 地域の観光資源を活かして、観光と保全の両立を目指すのは新しさもあり良い。[1]
		◆ 大沼のいい所だけではなく課題点もしっかり見てもらうようにしている。[1]
		● 地域が直に海外とつながるのがいい。[1]
		● 市民団体と行政の会議は、まとまらないという点に着目したのが良い。[1] ************************************
		● 地域資産として歴史と自然文化との関連づけ。[1]
		● 歴史とかまで踏み込んで幅広く深く取りんだこと。[1] ト毎町の政策に反映されたらにている。[1]
		● 七飯町の政策に反映されようとしている。[1]
		● 料理や体験などの一般向けアプローチ。[1] 中間支援団体がハブトレス機能できている(大気だが実ははなずかしい) [1]
		● 中間支援団体がハブとして機能できている(本気だが実ははむずかしい)。[1]
	卢수정문사	● 場をつくる、言葉をつくる、良い。[1]
	自立発展性	● 協働の取組にありがちな会議の遅延打開を図っている点。[1]

	1	T	
			<ul><li>◆ 会議の場によりできた関係が今後の活動につながると感じた。[1]</li><li>◆ 七飯町の政策に反映されようとしている。[1]</li></ul>
		開始時の状況	● 大沼のいい所だけではなく課題点もしっかり見てもらうようにしている。[1]
		MINERA ON DAME	<ul><li>● 地域資産として歴史と自然文化との関連づけ。[1]</li></ul>
			● 歴史とかまで踏み込んで幅広く深く取りんだこと。[1]
		運営制度の設計	● アカデミック+地域へのアプローチ。[1]
			● 難しい水質問題に対して、アカデミックの意見を取り入れると課題と解決が見えてくる。
			[1]
			● 外部の意見を入れてきたのは新しい視点が入っていい。[1]
			● 内外のつなぎ役がいることで、内目線と外目線がリンクする。[1]
			<ul><li>◆ 人間関係にメス!を入れる。[1]</li></ul>
			● 内部外部の人のかかわりがスムーズになるように会議の進め方においても役割を明確
			にして意見の出しやすいようにしている。[1] ● スムーズかつ参加度の高い会議進行のための作戦がいくつもあることがよい。[1]
			<ul><li>■ スムーズかつ参加度の高い会議進行のための作戦がいくつもあることがよい。[1]</li><li>■ いろんな作戦にネーミングしているのがいい。[1]</li></ul>
			● 課題をしっかり話し合い、違う世代の意見を取り入れた。[1]
			● これまで関わっていた主体を尊重しながら、会議を分けるなどして効率的に実施した
			点。[1]
			● ラムサール女子会などの女性を入れることにより会議の進め方が変わってくる。[1]
			● ユースと女子会がいい。[1]
	1+1		● 漁協=背広を着たオジサンのイメージ。女子を入れるのはいいですね。[1]
	協働		● 若い力と女子の力、外人パワーなど、アオコ問題に異種若者を投入した活力はすばら
	1-43		しい。[1]
			● 人間模様を改善させるシナリオ。[1]
		1+# 0-0- 1 -	● 場をつくる、言葉をつくる、良い。[1]
		協働のプロセス	● 200 件のアンケート調査を通じたニーズ分析がいい。[1]
			<ul><li>● 科学を取り入れながら楽しい活動をしている。[1]</li><li>● 外部と内部のつなぎにアオコ問題をとりあげたところ。[1]</li></ul>
			● 外部の人に現場をきちんと見て意見をもらえるようにしたこと。[1]
			● キーマンだけど難しい人に参画してもらうための会議戦略がすごい。[1]
			● 楽しく多くの人たちを集めている。[1]
			<ul><li>● 個々人の承認欲求を考えることがマッチングのポイント。[1]</li></ul>
			● 市民団体と行政の会議はまとまらないという点に着目したのが良い。[1]
			● 協働の取組にありがちな会議の遅延打開を図っている点。[1]
			● 七飯町の政策に反映されようとしている。[1]
			● 会議の場によりできた関係が今後の活動につながると感じた。[1]
			● マルチステークホルダーの取り組みの元気がいい印象。[1]
			● 多様な人々に参加してもらうプラットフォームづくりができている[1] ● いろいろな作戦を立てたところは良いと思います。1つでは、つまる可能性が大きい。
			● いついつな作戦を立てたとこつは良いと思います。1つでは、つまる可能性が入さい。 [1]
			● 中間支援団体がハブとして機能できている(本気だが実ははむずかしい)。[1]
[2]		効率性	<ul><li></li></ul>
人		, ,_	● 学生が島民へ聞き取り、信頼関係、仲間意識、想いをはき出す。[2]
٢			● 意識調査を学生さんに行ってもらったのはとてもよい。[2]
海		効果/目標達成度	● 海鳥もノラネコもドブネズミもみんながよくなるつながりの取り組みがいい。[2]
鳥			● 様々な会議の体系がよい。相手に応じた対応をしている。[2]
ط			● ツール (天売猫だより)づくりと話し合える場(連絡会)でネコに対する意識を変化させ
猫			た。[2]
が 共	_		● 島民の意思を反映、抽出する場づくり+情報発信(天売猫だより)[2] ● 課題を分析しっぱなしでなく、それを分りやすく様々な関係者に説明し、主体的な参加
生	事業		■ 課題を分析しつはなしてなく、それを分りやすく様々な関係者に説明し、主体的な参加 者、理解者を増やしている構図がとても明快。[2]
す	_		● 「猫だより」というツールはわかりやすそう。「みんなが手に取ってもらえる」工夫。[2]
る			● 「猫だより」は離島ならではの工夫で見習いたい。[2]
天			● 情報共有できるツール「天売猫だより」で思いが一つになった。[2]
売			<ul><li>ネコだけじゃなくほかのところと交流をすることが大切。結果ネコのとりくみにつながると</li></ul>
島			いうストーリー立て。[2]
連			● 多様な主体の様々な関心を活かした上で、天売島のアピールに効果的につなげてい
絡			た。[2]
協		計画妥当性	● 課題が推移していることに対応して、鳥→猫→ネズミ→島民のつながりを作っている。

-14		
議		
会		● 取組によって生じた新たな課題についてもきちんと向き合おうとする姿勢が良い。[2]
		● ノラネコ獲ったらドブネズミが増えた、が出発点となり、問題把握の発想がすばらしい。
		[2]
		● ネズミが増える等、次の不具合への対策がよいと思う。[2]
		● 島民密着型の取組方法。[2]
	関係主体の巻込度	● 取組によって生じた新たな課題についてもきちんと向き合おうとする姿勢が良い。[2]
		● 一年目の成果、課題を受けて、「住民・島民」対象の活動(連絡会)に力を入れたことは
		よい。[2]
		● 島の人の声を聞き、感情を理解したうえでネコ問題とドブネズミ対策の両立を図ってい
		た。[2]
		● 「猫だより」というツールはわかりやすそう。「みんなが手に取ってもらえる」工夫。[2]
		● 「猫だより」は離島ならではの工夫で見習いたい。[2]
		● 情報共有できるツール「天売猫だより」で思いが一つになった。[2]
		● 島民への広報誌発行。ネコを好きな人とキライな人の間をつなぐアイデア。[2]
		● 「天売猫だより」対立構造にならないためのツール。[2]
		● 天売猫だより。情報伝達以上の役割を最初から目的にしていた。問題提起と共通認識
		作り。[2]
		● 島民の気持ちを優先したプロジェクト。ネコ問題をきっかけに対話(交流)する機会やネ
		ットワークが生まれた。[2]
		● 地元の意見に丁寧に答えている謙虚な姿勢は、この取り組みを持続的に続けるうえで 、
		よいと思う。[2]
		● 課題を分析しっぱなしでなくそれを分りやすく様々な関係者に説明し、主体的な参加 ***
		者、理解者を増やしている構図がとても明快。[2]
		● 地域との合意形成により、持続的な活動へつながる。[2]
		● 調査アプローチに基づく島民の理解促進。[2]
		● 生物の数の調整について新たな意見を把握するのがよい。[2]
		● まず現場を見る。地域の人との交流会。[2] ● 学生が鳥民へ聞き取り、信頼関係、仲間意識、想いをはき出す。「2]
		● 学生が島民へ聞き取り、信頼関係、仲間意識、想いをはき出す。[2] ● 猫ツアーを通じた環境教育。課題を解決に向けた教材にしているのが良い。[2]
		● イントーを通じた環境教育。味趣を解伏に同けた教材にしているのが良い。[2] ● 子どもたちへのアプローチ手段としての、天売猫カードゲーム作成。[2]
	   関係主体の満足度	● 単純にノラネコ問題であるが、不妊去勢でなく島の問題として取り組んだこと。「2〕
	対は工体の側に及	● 一年目の成果、課題を受けて、「住民・島民」対象の活動(連絡会)に力を入れたことは
		よい。[2]
		<ul><li>● 島の人の声を聞き、感情を理解したうえでネコ問題とドブネズミ対策の両立を図ってい</li></ul>
		た。[2]
		<ul><li>■ 島民の気持ちを優先したプロジェクト。ネコ問題をきっかけに対話(交流)する機会やネ</li></ul>
		ットワークが生まれた。[2]
		<ul><li>● 地元の意見に丁寧に答えている謙虚な姿勢は、この取り組みを持続的に続けるうえで</li></ul>
		よいと思う。「2]
		<ul><li>● 島の人との交流を通してそれぞれの立場で、問題の解決に向けて明確にしていると思</li></ul>
		われた。[2]
		● 島民への広報誌発行。ネコを好きな人とキライな人の間をつなぐアイデア。[2]
		● 「天売猫だより」対立構造にならないためのツール。[2]
		● 天売猫だより。情報伝達以上の役割を最初から目的にしていた。問題提起と共通認識
		作り。[2]
		● 調査アプローチに基づく島民の理解促進。[2]
		● 生物の数の調整について新たな意見を把握するのがよい。[2]
		● まず現場を見る。地域の人との交流会。[2]
		● ツアー、島の人に取り組みを知ってもらうアイデア。[2]
	社会的インパクト	● ツール(天売猫だより)づくりと話し合える場(連絡会)でネコに対する意識を変化させ
		た。[2]
		● 島民の意思を反映、抽出する場づくり+情報発信(天売猫だより)。[2]
		● 「人と海鳥と猫が共生する天売島」ビジョンの構築。[2]
		● ネコをハブとした交流を上手にやっている。必ずしも猫を中心としないイベントを行い、
		いつの間にかネコ問題が進んでいる。[2]
		いつの間にかネコ問題が進んでいる。[2]  ● ツアー、島の人に取り組みを知ってもらうアイデア。[2]
		いつの間にかネコ問題が進んでいる。[2]

		● 地域の課題から地域振興につながっている。[2]
		● 多様な主体の様々な関心を活かした上で、天売島のアピールに効果的につなげてい
		た。[2]
	自立発展性	● 島の人との交流を通してそれぞれの立場で、問題の解決に向けて明確にしていると思
		われた。[2]
		● 組織内で「味方を増やす」意識と行動。[2]
		● 地域との合意形成により、持続的な活動へつながる。[2]
		● 調査アプローチに基づく島民の理解促進。[2]
		● 生物の数の調整について新たな意見を把握するのがよい。[2]
		● まず現場を見る。地域の人との交流会。[2]
		● 学生が島民へ聞き取り、信頼関係、仲間意識、想いをはき出す。[2]
		● 地域の課題から地域振興につながっている。[2]
		● 全国に広がるモデルとなる。[2]
		● 猫ツアーを通じた環境教育。課題を解決に向けた教材にしているのが良い。[2]
		● 子どもたちへのアプローチ手段としての、天売猫カードゲーム作成。[2]
-	開始時の状況	● 島民の気持ちを優先したプロジェクト。ネコ問題をきっかけに対話(交流)する機会やネ
	対象ロロマン1人が	ットワークが生まれた。[2]
		● 島の人の声を聞き、感情を理解したうえでネコ問題とドブネズミ対策の両立を図ってい
	実労制度の記引	た。[2]
	運営制度の設計	<ul><li>課題の設定が明確でよい。[2]</li></ul>
		● 島民密着型の取組方法。[2] ************************************
		● 様々な会議の体系がよい。相手に応じた対応をしている。[2]
		● ツール (天売猫だより) づくりと話し合える場(連絡会)でネコに対する意識を変化させ
		た。[2]
		● 島民の意思を反映、抽出する場づくり+情報発信(天売猫だより)。[2]
		● 課題を分析しっぱなしでなくそれを分りやすく様々な関係者に説明し、主体的な参加
		者、理解者を増やしている構図がとても明快。[2]
		● 連絡会といいつつ決める場の設定。[2]
		● 「人と海鳥と猫が共生する天売島」ビジョンの構築。[2]
		● 海鳥とノラネコの共生という発想がおもしろい。[2]
	協働のプロセス	● 課題が推移していることに対応して、鳥→猫→ネズミ→島民のつながりを作っている。
		● 取組によって生じた新たな課題についてもきちんと向き合おうとする姿勢が良い。[2]
		● ノラネコ獲ったらドブネズミが増えた、が出発点となり、問題把握の発想がすばらしい。
		[2]
		● ネズミが増える等、次の不具合への対策がよいと思う。[2]
ļ ļ	加加	● 一年目の成果、課題を受けて、「住民・島民」対象の活動(連絡会)に力を入れたことは
ľ	動	よい。[2]
		● 島の人の声を聞き、感情を理解したうえでネコ問題とドブネズミ対策の両立を図ってい
		た。[2]
		● 島民の気持ちを優先したプロジェクト。ネコ問題をきっかけに対話(交流)する機会やネ
		ットワークが生まれた。[2]
		● 地元の意見に丁寧に答えている謙虚な姿勢は、この取り組みを持続的に続けるうえで
		よいと思う。[2]
		● 島の人との交流を通してそれぞれの立場で、問題の解決に向けて明確にしていると思
		われた。[2]
		● 組織内で「味方を増やす」意識と行動。[2]
		● 「猫だより」というツールはわかりやすそう。「みんなが手に取ってもらえる」工夫。[2]
		● 「猫だより」は離島ならではの工夫で見習いたい。[2]
		● 情報共有できるツール「天売猫だより」で思いが一つになった。[2]
		● 島民への広報誌発行。ネコを好きな人とキライな人の間をつなぐアイデア。[2]
		● 「天売猫だより」対立構造にならないためのツール。[2]
		● 天売猫だより。情報伝達以上の役割を最初から目的にしていた。問題提起と共通認識
		作り。[2]
		<ul><li>◆ ネコをハブとした交流を上手にやっている。必ずしも猫を中心としないイベントを行い、</li></ul>
		いつの間にかネコ問題が進んでいる。[2]
		● ツアー、島の人に取り組みを知ってもらうアイデア。[2]
		● 多様な主体の様々な関心を活かした上で、天売島のアピールに効果的につなげてい
		た。[2]
		, _ 0 L _ 1

		効率性	● 森林保全と就労支援の両立、ステークホルダーの拡大。[3]
		劝平压	● 福祉との連携、過疎との共存。[3]
			- LU (+) - (+ LU ) - (+ LU) - (+ LU) - (+ LU)
	<del> </del>	かま / ロ挿法代告	
		効果/目標達成度	<ul><li>■ 福祉との連携、過疎との共存。[3]</li><li>● 社協との協力、福祉と環境の合作。[3]</li></ul>
			● 森林活用・環境教育・社会福祉のマルチベネフィットで協働を仕掛けた着眼点が素晴
			6UV. [3]
			● 森林保全と就労支援の両立、ステークホルダーの拡大。[3]
			● 福祉と森林でイノベーションをおこすアイデア(課題どうしのかけあわせ)。[3]
		計画妥当性	● 自治体を動かしてコアメンバーになってもらったのがすごい。[3]
			● 具体的事業(木ハガキ)を参加のきっかけに、モチベーションにして協働、主体的参画
			につながっていったこと。[3]
		関係主体の巻込度	● ステークホルダーの整理、巻き込み、仲間づくり。[3]
			● ステークホルダーが広がり、地道な取り組みがあった。[3]
			● 多様な人の巻き込み方がユニーク。[3]
			● 会議への参加、関わり。積極性が"伝染"。[3]
			● 具体的事業(木ハガキ)を参加のきっかけに、モチベーションにして協働、主体的参画
			につながっていったこと。[3]
			● ステークホルダーが集まった会議で、主体的発言をするように進んだことがいい。[3]
			● 「異業種交流」という着眼点(整理の仕方)がおもしろい。[3]
			● アプローチ方法を異業種交流と位置付けたことでパートナーの考え方が広がった。[3]
			● 社会復帰×森林保全に対して就労訓練者が主役に。[3]
		関係主体の満足度	● 「異業種交流」という着眼点(整理の仕方)がおもしろい。[3]
			● 同床異夢でも連携。[3]
ГоЛ			● 会議への参加、関わり。積極性が"伝染"。[3]
[3]			● ものづくりを通じたコミュニケーションの活発化、主体となる人々のやる気効果。[3]
あき			● アプローチ方法を異業種交流と位置付けたことでパートナーの考え方が広がった。[3]
t:	事業	社会的インパクト	● 協定締結は大きい成果。[3]
地	業		● 木の協定書、ストーリーがあってとても魅力的。[3]
球			● 協定を木はがき素材でというのはとても良い。[3]
環			● 協定書の締結による関係性の変容。[3]
境			● 町・社協・NPO の「協定」は事業の継続のためになるので素晴らしい。[3]
会			● 協定として正式にシステムを作ったことで、今後も属人的にならずとも、取組を続けられ
議			るのは良いのではないか。[3]
<b></b>			● 福祉との連携、過疎との共存。[3]
			● 社協との協力、福祉と環境の合作。[3]
			● 森林活用・環境教育・社会福祉のマルチベネフィットで協働を仕掛けた着眼点が素晴
			らしい。[3]
			● 森林保全と就労支援の両立、ステークホルダーの拡大。[3]
			● 自治体を動かしてコアメンバーになってもらったのがすごい。[3]
			● 就労訓練者が活躍する場、機会。[3]
			● 就労訓練からアプローチしている点がいい。[3]
			● 社会復帰×森林保全に対して就労訓練者が主役に。[3]
			● 他分野の提案をうまく取り入れ協働している。[3]
			● 福祉と森林でイノベーションをおこすアイデア(課題どうしのかけあわせ)。[3]
		自立発展性	● ものづくりを通じたコミュニケーションの活発化、主体となる人々のやる気効果。[3]
			● 具体的事業(木ハガキ)を参加のきっかけに、モチベーションにして協働、主体的参画
			につながっていったこと。[3]
			● ステークホルダーが集まった会議で、主体的発言をするように進んだことがいい。[3]
			● 協定書の締結による関係性の変容。[3]
			● 町・社協・NPO の「協定」は事業の継続のためになるので素晴らしい。[3]
			● 協定として正式にシステムを作ったことで、今後も属人的にならずとも、取組を続けられ
			るのは良いのではないか。[3]
			● 訓練によってやる気があがることはすばらしい。[3]
			● 就労訓練者が活躍する場、機会。[3]
			● 就労訓練からアプローチしている点がいい。[3]
	1.4	開始時の状況	● 森林活用・環境教育・社会福祉のマルチベネフィットで協働を仕掛けた着眼点が素晴
	協働		BLN: [3]
	倒		● 同床異夢でも連携。[3]

運営制度の設計 ● 「異業種交流」という着眼点(整理の仕方)がおもしろい。[3]	4 // 图 D D A T T T T T T T T T T T T T T T T T
● 森林活用・環境教育・社会福祉のマルチベネフィットで協働・	を仕掛けた看眼点か素晴
らしい。[3] ● 同床異夢でも連携。[3]	
● アプローチ方法を異業種交流と位置付けたことでパートナーC	の老う古が広がった [3]
● 自治体を動かしてコアメンバーになってもらったのがすごい。	
● 他分野の提案をうまく取り入れ協働している。[3]	[3]
● 福祉と森林でイノベーションをおこすアイデア(課題どうしのか)	いけなわせ)[3]
協働のプロセス  ・ ものづくりを通じたコミュニケーションの活発化、主体となる人	
● 会議への参加、関わり、積極性が"伝染"。[3]	ペットのX(X)(木。[3]
● 具体的事業(木ハガキ)を参加のきっかけに、モチベーション	/17] で協働 主体的会画
▼ 条件的事業(水) がもりを参加のさらがもりに、モナ・ド ション につながっていったこと。[3]	にして励働、土体的参画
● ステークホルダーが集まった会議で、主体的発言をするように	・准 4 だっしがいい 「3]
● 協定書の締結による関係性の変容。[3]	-XE/0/CCC/A-V -V - [3]
● 町・社協・NPO の「協定」は事業の継続のためになるので素晴	<b>を</b> とい [3]
● 協定として正式にシステムを作ったことで、今後も属人的にな	
るのは良いのではないか。[3]	
● 訓練によってやる気があがることはすばらしい。[3]	
<b>効率性</b> ● 課題の明確化がなされており、それに対応した取組を適切に	
た。[4]	
<b>効果/目標達成度</b> ● 夢物語ではなくしっかり調査をされている。[4]	
● 経済試算とデータは強い。[4]	
● 自治会ならではの連携の良さを感じた。1.1 億円の試算を出	し、目標を設定したのがい
ν <sub>°</sub> [4]	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
● 具体的な数値がでることで取組につながる。[4]	
● 試算にきっちり向き合っている。[4]	
● 地域資源を知る。[4]	
● 狭い中での地域の理解がうまくいっている。[4]	
● 電気ではなく熱でやろうとしているところ。[4]	
● バイオマス燃料の利用、目の付け所がいい。[4]	
● 木質バイオマスの価値の可視化→1.1 億円価値のインパクトラ	大。[4]
● 1.1 億円分のエネルギーをバイオマスにおきかえる、という目标	票がわかりやすい。[4]
● 「一」+「一」から「+」を産もうというアイデア。[4]	
[4] ● 地域内経済循環を目指した歩み、すごい。[4]	
<b>鶴</b> ■ 課題の明確化がなされており、それに対応した取組を適切に	.取っていたように感じられ
置 た。[4]	-
市 ● 分野横断的かつ行政の協力が得られているところが良い。[4	
= 計画妥当性 ● 課題の明確化がなされており、それに対応した取組を適切に	.取っていたように感じられ
瀬 業 た。[4]	)
世 <b>関係主体の巻込度</b> ● 自治会の方が中心となって多様なステークホルダーを巻き込	んでいること。[4]
■ ステークホルダーがちょっとずつ増えている。[4]	
<b>自</b>	
A	
● 非常に多様なステークホルダーが最初から協力的で地域の [4]	生件もあつ(りりでましい。
● 狭い中での地域の理解がうまくいっている。[4]	
● ゆるやかなつながりに共感します。[4]	
● ステークホルダーの皆の協力体制がすばらしい。[4]	
● 分野横断的かつ行政の協力が得られているところが良い。[4]	]
関係主体の満足度 ● 皆さんが一同に協力的な点はすごい財産。[4]	<u> </u>
● 出発点から問題意識、危機感の共有があった。[4]	
● 都度自己課題を確認(=評価)して新ステークホルダーに関	わってもらっていることは
すごい。[4]	
<b>社会的インパクト</b> ● 自治レベルでこの連携をつくったのはすごい。[4]	
● 自治会の方が中心となって多様なステークホルダーを巻き込	んでいること。[4]
● 自治会かっこいい!(しかも若い)。[4]	
● 「自治会」として動いておられるのがすばらしい!自治のある。	べき姿と思います。 [4]
● 持続的な地域を描けている。[4]	-2,
<ul><li>大きなビジョンがある。[4]</li></ul>	

			● バイオマス燃料の利用、目の付け所がいい。[4]
			● バイオマス燃料の利用、目の付け所がいい。[4] ● 木質バイオマスの価値の可視化→1.1 億円価値のインパクト大。[4]
			● 1.1 億円分のエネルギーをバイオマスにおきかえる、という目標がわかりやすい[4]
			● 地域内経済循環を目指した歩み、すごい。[4]
			● 分野横断的かつ行政の協力が得られているところが良い。[4]
		4 + 20 D M	● 1.1 億円分のエネルギーをバイオマスにおきかえる、という目標がわかりやすい[4]
		自立発展性	● 経済試算とデータは強い。[4]
			● 自治会ならではの連携の良さを感じた。1.1 億円の試算を出し、目標を設定したのがい
			V \ [4]
			● 具体的な数値がでることで取組につながる。[4]
			● 試算にきっちり向き合っている。[4]
			● 非常に多様なステークホルダーが最初から協力的で地域の理解もあってうらやましい。
			[4]
			● 皆さんが一同に協力的な点はすごい財産。[4]
			● ステークホルダーの皆の協力体制がすばらしい。[4]
			● 出発点から問題意識、危機感の共有があった。[4]
			● 課題の明確化がなされており、それに対応した取組を適切に取っていたように感じられ
			to [4]
			● 都度自己課題を確認(=評価)して新ステークホルダーに関わってもらっていることは
	-	BB (4 = 4 = 16 = =	すごい。[4]
		開始時の状況	● 出発点から問題意識、危機感の共有があった。[4]
		運営制度の設計	● 夢物語ではなくしっかり調査をされている。[4]
			● 経済試算とデータは強い。[4]
			● 自治会ならではの連携の良さを感じた。1.1 億円の試算を出し、目標を設定したのがい
			(° [4]
			● 具体的な数値がでることで取組につながる。[4]
			● 試算にきっちり向き合っている。[4]
			● 町内会単位でこれだけたくさんのステークホルダーを巻き込めているのはすごい。[4]
			<ul><li>狭い中での地域の理解がうまくいっている。[4]</li></ul>
	l		<ul><li>ゆるやかなつながりに共感します。[4]</li></ul>
	協		● ステークホルダーの皆の協力体制がすばらしい。[4]
	働		● ゆるやかな協議会→多様なマルチステークホルダーによる役割分担。[4]
			<ul><li>役割分担(自治会、行政、教育委員会)が上手くできている。[4]</li></ul>
			● 1.1 億円分のエネルギーをバイオマスにおきかえる、という目標がわかりやすい。[4]
		1+ H 0	● 分野横断的かつ行政の協力が得られているところが良い。[4]
		協働のプロセス	● 非常に多様なステークホルダーが最初から協力的で地域の理解もあってうらやましい。
			● 皆さんが一同に協力的な点はすごい財産。[4]
			● 課題の明確化がなされており、それに対応した取組を適切に取っていたように感じられ
			た。[4]
			● 都度自己課題を確認(=評価)して新ステークホルダーに関わってもらっていることは
	-	+L <del>-/-</del> h4L	すごい。[4]
		効率性	● 都市郊外の問題を立地の有利性を活かして、協働を意識しながら解決しようと試みて トンス 「5 ]
			いる。[5]
			● 今あるステークホルダーを活用した。[5]
			<ul><li>女子力を最大限活用。[5]</li></ul>
rea.			● 女性リーダーの力が中心力になっているのでしょう。[5]
[5]			● 自治体の計画と連動している。[5] ◆ 日になる」はないストナナギ・ストルではないまた。「6]
駿	_		● 台風になる人材がいることで地域が動くと感じた。[5]
河ム	事業		<ul><li>◆ キーパーソンを核に据える求心力いいね。[5]</li><li>◆ 地域のことを先生が親身になっている。[5]</li></ul>
台大	*		<ul><li>● 地域のことを先生が親身になっている。[5]</li><li>● 的がしぼれていてうまく行っている。[5]</li></ul>
学			● あらゆる手段を導入しているアイデア量が多い。[5]
子		刈木/ 日际连队员	● めらゆる手段を導入しているノイデノ重か多い。 [5] ● 大学による課題の捉えなおし、"持続可能性"への次元に向上させた。 [5]
			● 人字による課題の捉えなねし、持続可能性 への仮元に同上させた。[5] ● 目的の共有→課題解決の加速化。[5]
			● 自的の共有→課題解決の加速化。[5] ● 自治体の計画と連動している。[5]
		計画立	
		計画妥当性	
			● 自治体の計画と連動している。[5]

	1	明はナルネックナ	_	がいい知点がもよりはない。からない、昼野さいしょうにってご
		関係主体の巻込度	•	新しい視点があまり感じられないが、やりたい気持ちが大きくある。[5]
			•	楽しいことをしようということが次々と広がった。[5]
			•	「楽しくやる」ことは大切。[5]
			•	女子力を最大限活用。[5]
			•	多くの関係者をまきこんでいるところはよい。[5]
			•	自分たちの活動から地域の人たちの巻き込みへの拡大プロセス。[5]
			•	少子高齢化の中心的な課題に対して、地域の人たちに機会を作り、参加するようにし
				て、解決していること。[5]
		関係主体の満足度	•	ステークホルダーミーティングで課題認識ができたこと。[5]
			•	楽しいことをしようということが次々と広がった。[5]
			•	「楽しくやる」ことは大切。[5]
		社会的インパクト	•	大学が中心にある事業は多くの他の大学にも、関心を持ってもらえる。[5]
		仕去的インハント	•	大子が十七にめる事業は多くの他の人子にも、関心を行うてもらえる。 社団法人の誕生が素晴らしい。うまく巻き込んで進められたように感じられました。[5]
				社団伝入の誕生が条備的して、アまて各さ込んで進められたように感じられました。[3] 行政計画との整合性いい。[5]
			•	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
			•	法人格をもった団体をつくることで目的が統一されたように思う。[5]
			•	エコツーリズムの一歩先を行くモデル。[5]
			•	小さな拠点の提案をもっていったのがいい。[5]
			•	協働事業方針が市の施策に沿って連動している。[5]
			•	地域の持続可能性を具体的に考えている。[5]
			•	少子高齢化の中心的な課題に対して、地域の人たちに機会を作り、参加するようにし
				て、解決していること。[5]
		自立発展性	•	楽しいことをしようということが次々と広がった。[5]
			•	「楽しくやる」ことは大切。[5]
			•	社団法人の誕生が素晴らしい。うまく巻き込んで進められたように感じられました。[5]
			•	法人格をもった団体をつくることで目的が統一されたように思う。[5]
			•	エコツーリズムの一歩先を行くモデル。[5]
			•	小さな拠点の提案をもっていったのがいい。[5]
			•	協働事業方針が市の施策に沿って連動している。[5]
			•	つながりの見える化。[5]
			•	地域の持続可能性を具体的に考えている。[5]
		 開始時の状況	•	台風になる人材がいることで地域が動くと感じた。[5]
		用知時の人が		
		TENER A STUDIE	•	キーパーソンを核に据える求心力いいね。[5]
		運営制度の設計	•	今あるステークホルダーを活用した。[5]
			•	多くの関係者をまきこんでいるところはよい。[5]
			•	自分たちの活動から地域の人たちの巻き込みへの拡大プロセス。[5]
			•	つながりの見える化。[5]
			•	大学による課題の捉えなおし、"持続可能性"への次元に向上させた。[5]
	協		•	目的の共有→課題解決の加速化。[5]
	働	協働のプロセス	•	社団法人の誕生が素晴らしい。うまく巻き込んで進められたように感じられました。[5]
			•	法人格をもった団体をつくることで目的が統一されたように思う。[5]
			•	小さな拠点の提案をもっていったのがいい。[5]
			•	協働事業方針が市の施策に沿って連動している。[5]
			•	地域の持続可能性を具体的に考えている。[5]
			•	ステークホルダーミーティングで課題認識ができたこと。[5]
			•	少子高齢化の中心的な課題に対して、地域の人たちに機会を作り、参加するようにし
				て、解決していること。[5]
		効率性	•	地域資源=マネー。他のステークホルダーがいない。気づき、改めて知る。[6]
		が上江	•	地域おこし協力隊として、模範的なケース。[6]
			_	協力隊ならではのミッションだと思います。[6]
[6]			•	
辻		차田 / □ 듄녹++	•	外の人が住民を引っ張り出していてよいと思う。[6]
又		効果/目標達成度	•	地道な説明。あせらない活動。[6]
地	事	計画妥当性	•	超高齢地区で住民を動かした仕掛け。[6]
域	事業	関係主体の巻込度	•	「地域の人が主体で考える」ための場づくりは大切な要素。[6]
協			•	地域の人とつながるための行動力。[6]
議			•	当事者意識がわいてくるような対話のプロセスデザイン。[6]
会			•	地域の人との信頼関係づくりの苦労に共感。[6]
云			•	地域に入るための地道な取組いい。[6]
			•	地区の運動会に参加。[6]
			•	協力隊の活動報告会など、地域にとけこもうとしているところ。[6]
	1		1	

				主体性をひきだす過程にいいね![6]
			•	エ14性をいさに 9 週程に V V 4a: [6] ステークホルダーの変化。流れがよいと感じた。 [6]
			•	"呼ばれたから来る"ステークホルダーの主体性に着目した。[6]
				地域の人とのつなぎ役として円滑にしている。[6]
			•	
			•	地道な説明。あせらない活動。[6] 地道な信頼関係づくり。「6]
			•	
			•	淋しいシニア部落に「地域の人々の参加」を創るその挑戦力はすごい。地域住民との
				信頼関係構築に分けて、意見交換の場をつくり、情報収集をしてそれぞれが課題を認
			_	識して、自分たちで改善していくようにしていること。[6]
			•	冷たい反応にもめげずに粘り強くワークショップを重ねた点。[6]
			•	住民との共同作業で手伝う(住民に寄ってく)という切り口がよい。[6]
		関係主体の満足度	•	当事者意識がわいてくるような対話のプロセスデザイン。[6]
			•	地域の人との信頼関係づくりの苦労に共感。[6]
			•	地域に入るための地道な取組いい。[6]
			•	地区の運動会に参加。[6]
			•	協力隊の活動報告会など、地域にとけこもうとしているところ。[6]
			•	主体性をひきだす過程にいいね![6]
			•	地域の人とのつなぎ役として円滑にしている。[6]
			•	地道な説明。あせらない活動。[6]
			•	淋しいシニア部落に「地域の人々の参加」を創るその挑戦力はすごい。地域住民との
				信頼関係構築に分けて、意見交換の場をつくり、情報収集をしてそれぞれが課題を認
			_	識して、自分たちで改善していくようにしていること。[6]
			•	冷たい反応にもめげずに粘り強くワークショップを重ねた点。[6]
		11 0 11 11 01 1	•	住民との共同作業で手伝う(住民に寄ってく)という切り口がよい。[6]
		社会的インパクト	•	資源の価値がわかっている。魚沼ブランド。見せ方上手。[6]
		* * * * = #	•	課題の洗い出しのみならず、その分類まで行うことは対策立案に効果的と感じた。[6]
		自立発展性	•	ステークホルダーの変化。流れがよいと感じた。[6]
			•	"呼ばれたから来る"ステークホルダーの主体性に着目した。[6]
			•	超高齢地区で住民を動かした仕掛け。[6]
			•	地域の人とのつなぎ役として円滑にしている。[6]
			•	地道な説明。あせらない活動。[6]
			•	地道な信頼関係づくり。[6]
			•	淋しいシニア部落に「地域の人々の参加」を創るその挑戦力はすごい。地域住民との
				信頼関係構築に分けて、意見交換の場をつくり、情報収集をしてそれぞれが課題を認識して、自分たちで改善していくようにしていること。[6]
			•	〜 たい反応にもめげずに粘り強くワークショップを重ねた点。[6]
		  開始時の状況	•	冷たい反応にもめげずに粘り強くワークショップを重ねた点。[6]
		運営制度の設計		「地域の人が主体で考える」ための場づくりは大切な要素。[6]
		建名前及の設計		外の人が住民を引っ張り出していてよいと思う。[6]
			•	超高齢地区で住民を動かした仕掛け。[6]
		協働のプロセス	•	地域の人とつながるための行動力。[6]
		一脚側のプロピス		当事者意識がわいてくるような対話のプロセスデザイン。[6]
				当事有息職があいてくるよりより話のプロセステッキン。[6] 地域の人との信頼関係づくりの苦労に共感。[6]
				地域に入るための地道な取組いい。「6]
				地区の運動会に参加。[6]
	lカ			協力隊の活動報告会など、地域にとけこもうとしているところ。[6]
	協働			・ 主体性をひきだす過程にいいね!「6]
	1247			エドログラング 過程に 1 1/42 : [6] ステークホルダーの変化。流れがよいと感じた。[6]
			•	"呼ばれたから来る"ステークホルダーの主体性に着目した。[6]
			•	超高齢地区で住民を動かした仕掛け。[6]
			•	淋しいシニア部落に「地域の人々の参加」を創るその挑戦力はすごい。地域住民との
				信頼関係構築に分けて、意見交換の場をつくり、情報収集をしてそれぞれが課題を認
				間には、自分たちで改善していくようにしていること。[6]
			•	冷たい反応にもめげずに粘り強くワークショップを重ねた点。[6]
			•	住民との共同作業で手伝う(住民に寄ってく)という切り口がよい。[6]
			•	地域資源=マネー。他のステークホルダーがいない。気づき、改めて知る。[6]
[7]		効率性	•	シニアがやっているのはすごいし、知を実際に集約して活用しているのがいい。[7]
四四	事業	ツナエ	•	きりを持ったシニアパワーを最大限活かしている。[7]
	業		•	シニアのニーズをつかんだことが良かった。[7]
				* / ->

		1	
市			● シニアの人たちの考え方、生き方を変えていく取組はすごいことだと感じた。[7]
大			● 竹を資源にするシニアパワー[7]
学		効果/目標達成度	● 竹の価値を生み出すための工夫。[7]
エ			● 竹のポテンシャル大きいということがわかった。[7]
ネ			● 竹を資源にするシニアパワー[7]
ル		計画妥当性	● 問題意識がおもしろい。[7]
ギ			● 竹の価値を生み出すための工夫。[7]
			● 誇りを持ったシニアパワーを最大限活かしている。[7]
環			● シニアのニーズをつかんだことが良かった。[7]
境		関係主体の巻込度	● 「インセンティブが大切」に共感。「7〕
教			● 動員力(ネットワークか?)。[7]
育			<ul><li>シニアのニーズをつかんだことが良かった。[7]</li></ul>
研		関係主体の満足度	● シニアの人たちの考え方、生き方を変えていく取組はすごいことだと感じた。[7]
究		N/X PF-07/6/C/X	● 自分事になった。[7]
会			● 自己変革したいシニアの気持ちよく他のシニアにも勇気を与えると思う。[7]
		 社会的インパクト	● 若者への発信。[7]
		仕去的インハント	
		+ + 2× = 14	● 企業人→地域人、という価値観の変化がいい。[7]
		自立発展性	● ステークホルダーが自分事として考えられるようになってきている。[7]
			● 自分事になった。[7]
			● シニアが自己の変容も意識して自ら動き始めた。[7]
			● 実践することで人を動かす、説得する、意識を変える。[7]
			● 自己変革したいシニアの気持ちよく他のシニアにも勇気を与えると思う。[7]
		開始時の状況	● 自己変革したいシニアの気持ちは他のシニアにも勇気を与えると思う。[7]
			● 企業人→地域人、という価値観の変化がいい。[7]
		運営制度の設計	● 「インセンティブが大切」に共感。[7]
			<ul><li>シニアのニーズをつかんだことが良かった。[7]</li></ul>
	協	協働のプロセス	● ステークホルダーが自分事として考えられるようになってきている。[7]
	働		● 自分事になった。[7]
			● シニアの人たちの考え方、生き方を変えていく取組はすごいことだと感じた。[7]
			● シニアが自己の変容も意識して自ら動き始めた。[7]
			● 実践することで人を動かす、説得する、意識を変える。[7]
			● 自己変革したいシニアの気持ちよく他のシニアにも勇気を与えると思う。[7]
		効率性	● 実行者の意識が変わった。[8]
		<b>₩</b>	● 高齢の方もブレーンストーミングに参加している。[8]
			<ul><li>シニアの人々の多数参加が良い。[8]</li></ul>
			● まず活動を通じて繋がりを作り、そこから意見を募る手法。[8]
		別木/ 口标连风及	● 「福祉」に結びつけるところにニッチな視点。[8]
		計画妥当性	
			[8]
			● 「福祉」に結びつけるところにニッチな視点。[8]
			● 林業企業と山林所有者の関係が活かされている。[8]
		関係主体の巻込度	● 高齢者のための看護部門を取り入れている。[8]
[8]			● 村の人たちを巻き込んだ取組がよい。[8]
柳			● 高齢の方もブレーンストーミングに参加している。[8]
沢	事業		● まず活動を通じて繋がりを作り、そこから意見を募る手法。[8]
林	業		● 幅広い関係者に働きかけ、共有段階を丁寧に進めている点。[8]
業			● ターゲットを広げていった。[8]
未			● 地元の林業会社が立ち上がったところ。[8]
		関係主体の満足度	● 幅広い関係者に働きかけ、共有段階を丁寧に進めている点。[8]
			● 会議の場が丸くなった。[8]
			● あきらめない心が地域を動かした。[8]
			● あきらめていた村の人たちのやる気を出していったところ。[8]
			● ブレストやワークショップに対する抵抗をあきらめない。[8]
		4L 0.45 () .851	
		(大学形) インハント	I ■ - 限元(/) M 美学行为 \/ (6 F 7) 0 / (7 )   (7 I × I × I × I × I × I × I × I × I × I
		社会的インパクト	● 地元の林業会社が立ち上がったところ。[8]
		社会的インハクト	● シニアの人々の多数参加が良い。[8]
		社会的インハクト	<ul><li>シニアの人々の多数参加が良い。[8]</li><li>森と福祉を繋げた。高齢者に火をつけた。[8]</li></ul>
		在芸的インハクト	● シニアの人々の多数参加が良い。[8]

		自立発展性	•	柳沢林業さんの担当者の「変化」。[8]
			•	社会変容を通して自己変容の姿。[8]
			•	活動の幅が広がったことで、地域住民を巻き込もうとして変わっていることの気づき。
				[8]
			•	会議の場が丸くなった。[8]
			•	あきらめない心が地域を動かした。[8]
			•	あきらめていた村の人たちのやる気を出していったところ。[8]
			•	ブレストやワークショップに対する抵抗をあきらめない。[8]
		開始時の状況	•	幅広い関係者に働きかけ、共有段階を丁寧に進めている点。[8]
		運営制度の設計	•	村の人たちを巻き込んだ取組がよい。[8]
		理呂削及の設計		相の人たらを含さ込んに取組がよい。[8] 幅広い関係者に働きかけ、共有段階を丁寧に進めている点。[8]
			•	
		1 0	•	林業企業と山林所有者の関係が活かされている。[8]
		協働のプロセス	•	柳沢林業さんの担当者の「変化」。[8]
			•	社会変容を通して自己変容の姿。[8]
	協働		•	高齢の方もブレーンストーミングに参加している。[8]
	働		•	まず活動を通じて繋がりを作り、そこから意見を募る手法。[8]
			•	活動の幅が広がったことで、地域住民を巻き込もうとして変わっていることの気づき。
				[8]
			•	会議の場が丸くなった。[8]
			•	あきらめない心が地域を動かした。[8]
			•	あきらめていた村の人たちのやる気を出していったところ。[8]
			•	ブレストやワークショップに対する抵抗をあきらめない。[8]
		効率性	•	プラットフォームを作る体制づくりとエコツアー、環境学習をつなげていったこと。[9]
		※一は	•	新しいプログラムがみんなの力と知恵と思いで作られている。[9]
			•	環境教育に地域の資源を入れたところ。[9]
		か 田 ノロ 挿 法 代 庄		温暖化で"よしず"の良さは必ず見直されると思います。「9〕
		効果/目標達成度	•	
		티프로사사	•	様々な視点でヨシを活用しているところ。[9]
		計画妥当性	•	着地型観光への発展。[9]
			•	環境だけじゃなく観光とかの掛け算は良い。[9]
		関係主体の巻込度	•	地域愛をベースに、明確なビジョンをもとに事業を進めていること。[9]
			•	ステークホルダーが広がるプラットフォームになっている。[9]
			•	色々な企業のまきこみ。[9]
			•	新しいプログラムがみんなの力と知恵と思いで作られている。[9]
		関係主体の満足度	•	新しいプログラムがみんなの力と知恵と思いで作られている。[9]
	<del>-</del>	社会的インパクト	•	"ヨシ"というテーマが明確、理解されやすい。[9]
[9]	事業		•	人材育成を含めたヨシ文化のワンストップサービスになりつつあること。[9]
3	*		•	環境教育の紹介先として県が推薦している。[9]
シ			•	プラットフォーム化したもの(しくみ)を県が活用しているのはいいね![9]
ネ			•	地域教材化への取組→協働プラットフォーム→行政との連携(環境教育施策)の好循
ッ				環。[9]
, ,			•	環境教育に地域の資源を入れたところ。「9]
ワ			•	一般の人が多角的な視点からヨシにアプローチできるような魅力を伝えている。[9]
ĺ			•	ヨシを活用したエコツアーは良いと思う。[9]
ーク			_	体験教育の場づくりが良い。[9]
		自立発展性	•	地域愛をベースに、明確なビジョンをもとに事業を進めていること。[9]
		日立宪展性	•	
			•	環境教育の紹介先として県が推薦している。[9]
			•	プラットフォーム化したもの(しくみ)を県が活用しているのはいいね![9]
			•	地域教材化への取組→協働プラットフォーム→行政との連携(環境教育施策)の好循
				環。[9]
		開始時の状況	•	地域愛をベースに、明確なビジョンをもとに事業を進めていること。[9]
		運営制度の設計	•	プラットフォームを作る体制づくりとエコツアー、環境学習をつなげていったこと。[9]
			•	地域愛をベースに、明確なビジョンをもとに事業を進めていること。[9]
	協		•	人材育成を含めたヨシ文化のワンストップサービスになりつつあること。[9]
	協働		•	新しいプログラムがみんなの力と知恵と思いで作られている。[9]
			•	環境教育に地域の資源を入れたところ。[9]
		協働のプロセス	•	地域教材化への取組→協働プラットフォーム→行政との連携(環境教育施策)の好循
		(III) (AI) *** * C /	-	環。[9]
[10]			•	市のいくつかのセクターとつながった。[10]
bioa	[事	ツナロ	•	行政の関連した部署と関わっている。今後に繋がれば。[10]
			. –	17-22 - 124AL OTCHETO CI277 - 2 1 00 / 1241-2777 4 9100 [10]

			•	学生団体が参加しているところ。[10]
			•	多様なステークホルダーとのつながりを作ったことはすばらしい。手法が気になる。[10]
		効果/目標達成度	•	「地域」をベースに環境教育を進めておられるのが良い! [10]
		計画妥当性	•	未来のために今何をすべきかについて明確にわかるようになっている。[10]
			•	課題を明確にして、計画に反映していること。[10]
			•	課題を明確にして始めた。[10]
			•	教育委員会の参加が良い→小学校の協力が得られた。[10]
		関係主体の巻込度	•	茨木市行政間のつながり、縦割り行政、ヨコの仕組みづくり。[10]
		内水上叶•0~已足及	•	市のいくつかのセクターとつながった。[10]
			•	行政の関連した部署と関わっている。今後に繋がれば。[10]
			•	ダム、高速など環境教育とは一見結び付きにくい場での取り組みは興味深い。[10]
			•	学生団体が参加しているところ。[10]
			•	いろいろなところとつながりを広げている。[10]
			•	学生団体を巻き込んで新しい発想や行動力を得た。[10]
			•	都市計画とあいまって多くのステークホルダーが関わって進められている。[10]
			•	多様なステークホルダーとのつながりを作ったことはすばらしい。手法が気になる。[10]
		関係主体の満足度	•	繋がりの増加を実感できている。[10]
		网 / 八工   千〇 / 高 / 仁 / 文	•	学生団体を巻き込んで新しい発想や行動力を得た。[10]
		社会的インパクト	•	環境にとどまらない、地域愛を育む取組を実践している点。[10]
		「五女用リーンハフト	•	地域活性化に上手く環境教育を取組もうとしている。[10]
			•	市の方針に合わせた取組。[10]
			•	教育委員会の参加が良い→小学校の協力が得られた。[10]
			•	ダム、高速など環境教育とは一見結び付きにくい場での取り組みは興味深い。[10]
			•	都市計画とあいまって多くのステークホルダーが関わって進められている。[10]
		自立発展性	•	環境にとどまらない、地域愛を育む取組を実践している点。[10]
			•	地域活性化に上手く環境教育を取組もうとしている。[10]
			•	市の方針に合わせた取組。[10]
		開始時の状況	•	茨木市行政間のつながり、縦割り行政、ヨコの仕組みづくり。[10]
		運営制度の設計	•	未来のために今何をすべきかについて明確にわかるようになっている。[10]
			•	課題を明確にして、計画に反映していること。[10]
			•	課題を明確にして始めた。[10]
			•	茨木市行政間のつながり、縦割り行政、ヨコの仕組みづくり。[10]
	協		•	市のいくつかのセクターとつながった。[10]
	協働		•	行政の関連した部署と関わっている。今後に繋がってほしい。[10]
			•	教育委員会の参加が良い→小学校の協力が得られた。[10]
			•	学生団体を巻き込んで新しい発想や行動力を得た。[10]
		協働のプロセス	•	繋がりの増加を実感できている。[10]
			•	都市計画とあいまって多くのステークホルダーが関わって進められている。[10]
			•	多様なステークホルダーとのつながりを作ったことはすばらしい。手法が気になる。[10]
		効率性	•	外部の団体の介入。[11]
		効果/目標達成度	•	島外の企業の立場でのマルチベネフィットの追求(貢献)は魅力的![11]
			•	誰も知らないところから、よくつなげている。「島」大変、エライ![11]
		計画妥当性	•	藻場づくりと担い手づくりを一緒にやっているところがいい。[11]
			•	課題が明確でよい。協働における「人間関係構築の壁」。[11]
[11]			•	協働の課題をよく認識している点。[11]
日			•	どんな課題があるのか、理解している。[11]
本			•	協働の課題が整理されているので、解決に必要なステークホルダーがわかりやすい。
シ				[11]
ジ	事業	関係主体の巻込度	•	島内からの提案を受けとってリードしている。[11]
=	耒		•	島外からの提案が島民の気づきになったこと。[11]
研			•	既に活動している組織との連携。[11]
究			•	ステークホルダーを有機的につなげようとしているところ。[11]
所			•	協働の課題が整理されているので、解決に必要なステークホルダーがわかりやすい。
		<b>明<i>は</i>よ</b> せるサラナ	-	[11]
		関係主体の満足度	•	地域の人にうまく火をつけたのは素晴らしい。[11]
		社会的インパクト	•	会社発案で協働をしようということがすばらしい。[11]
			•	島の活性化のために、藻場以外の事例にも転用できそう。[11]
			•	アクセスの悪い島で恊働の取り組みを始めたところ。[11]
			•	物理的な距離、心理的な距離を乗り越えて取り組まれている姿勢が素晴らしい。[11]

特次の担い手のための環境教育、[11]				
自立発展性				13717 3— 1 1 1 2 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
自立発展性				
### おいの担い手づくり、[11]    正				
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			自立発展性	
付入が収の育成を考えて活動しているところ。[11]				
開始時の状況				
物理的な距離、心理的な野能を素が越えて取り組まれている姿勢が素晴らしい。[11]   選営制度の設計   部域が明確定はい。協働における「人間関係報の壁」。[11]   ステークホルダーを有機的についる組織との連携。[11]   ステークホルダーを有機的につい方はがよりとしているところ。[11]   風勢の大声の提案を受けとってリードしている。[11]   協働のプロセス   品内からの提案を受けとってリードしている。[11]   地域の人にうまく火をつけたのは、までおけている。[11]   。 品外からの提案を受けとってリードしている。[11]   ・ 地域の人にうまく火をつけたのは、このよりでいる。「品) 大変、エライ! [11]   ・ 海豚がらいところか。よくかなげている。「品) 大変、エライ! [11]   ・ 海豚がらいところか。よくかよげている。「品) 大変、エライ! [11]   ・ 海豚がらなどころか。よくかよげている。「品) 大変、エライ! [11]   ・ 海豚がたとしたりを一緒にやっている。「品) 大変、エライ! [11]   ・ カルクロい手づたりの一環状数で。[11]   ・ カルクロい手づたりの一環状数で。[11]   ・ カルクロい手づたり。[11]   ・ カルクロい手づたり。[11]   ・ カルクロい手づたの。[11]   ・ カルクロい手づたのにな考えて活動しているところ。[11]   ・ 日かり後の育成を考えて活動しているところ。[11]   ・ 日かり後の育成を考えて活動しているところ。[11]   ・ 日かりまの形式を表を表がままい。[12]   ・ 教育を見合の参加を主を作り、[12]   ・ 教育を見合の参加を主を作り、[12]   ・ 教育を見合の参加と条件が実にながら取組んでいるところ。[12]   ・ 宇宙が大による単地が良い、[12]   ・ 宇宙が大による単地が良い、[12]   ・ 宇宙が大による単地が良い、[12]   ・ 宇宙が大による単地が良い、[12]   ・ 宇宙が大による単地が良い、[12]   ・ 東宮等良としていて出るが開い、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、				<ul><li>● ESD の取り込みの視点はいい。[11]</li></ul>
運営制度の設計   課題が明確でよい、協像における「人間関係構築の壁」。[11]   既に活動にている組織との連携。[11]   ステークホルダーを有機的につだけようとしているところ。[11]   協働のプロセス   島内からの提案を受けとってリードしている。[11]   地域の人にうまく火を一切たの仕業精らしい。[11]   地域の人にうまく火を一切たの仕業精らしい。[11]   地域の人にうまく火を一切たの仕業精らしい。[11]   海科知らないところから、よくつなげている。[5]   大変、エライ! [11]   部も知らないところから、よくつなげている。[5]   大変、エライ! [11]   海域保全十人材育成、両輪として解決を目指す取り組み。[11]   深級保全十人材育成、両輪として解決を目指す取り組み。[11]   日本性生もった若手がさらに改き考えているのはよい。[11]   10   おり役の育成を考えて活動しているところ。[11]   11   11   12   12   13   14   14   14   14   14   14   14			開始時の状況	● アクセスの悪い島で協働の取り組みを始めたところ。[11]
既に活動している組織との連携、[11]				● 物理的な距離、心理的な距離を乗り越えて取り組まれている姿勢が素晴らしい。[11]
本方・一のカルゲーを有機的につなけまらとしているところ。[11]   協働の課題が整理されているので、解決に必要なステークホルゲーがわかりやすい。 [11]   協働のプロセス			運営制度の設計	● 課題が明確でよい。協働における「人間関係構築の壁」。[11]
協働のプロセス				● 既に活動している組織との連携。[11]
(11) 協働のプロセス				● ステークホルダーを有機的につなげようとしているところ。[11]
(11) 協働のプロセス				● 協働の課題が整理されているので、解決に必要なステークホルダーがわかりやすい。
(3) 協働のプロセス				
地域の人にうまく水をつけたのは素晴らしい。[11]   島外からの推案が島民の気づきになったこと。[11]   島外からの推案が島民の気づきになったこと。[11]   島外からの推案が島民の気づきになったこと。[11]   海珠の担い手のための環境教育。[11]   将来の担い手のための環境教育。[11]   将来の担い手のための環境教育。[11]   非体性をもった者手がさらに次を考えているのはよい。[11]   吉体性をもった者手がさらに次を考えているのはよい。[11]   吉体性をもった者手がさらに次を考えているのはよい。[11]   ・			協働のプロヤス	
島外からの提案が島民の気づきになったこと。[11]   ● 誰も知らないところから、よくつなげている。「島」大変、エライ! [11]   ● 議場づりと担い手づくり。「11]   ● 探事の担い手づくり。「11]   ● 探事の担い手づくり。「11]   ● 探事の担い手づくり。「11]   ● 探事の上がらの環境教育。[11]   ● 環境保全十人材育成。両輪として解決を目指す取り組み。[11]   ● 古本い人の担い手づくり。「11]   ● 古本い人の担い手づくり。「11]   ● 古本に性をもった若手がさらに次を考えているのはよい。[11]   ● およい人の担い手づくり。「11]   ● およの人根点はたい。[11]   ● 地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]   ● 地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]   ● 教育委員会の参加(名小学校、学童保育)。[12]   ● 探が力・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	ļ	拉	in party of the Control	
■ 誰も如らないところから、よくつなげている。「島」大変、エライ! [11] ● 藻場づりと担い手づくりを一緒にやっているところがいい。[11] ● 海場でりと担い手でりを一緒にやっているところがいい。[11] ● 海球の担い手のための環境教育。[11] ● 君い人の担い手づくり。[11] ● 書は性をもった若手がさらに次を考えているのはよい。[11] ● 古りたり相談の育成を考えて活動しているところ。[11] ● 自身の育成を考えて活動しているところ。[11] ● 多様なリソース(場、組織)の活用。[12] ● 地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12] ● 教育委員会の参加をの注しない。[12] ● 学部方式による推進が良い。[12] ● 宇部方式による推進が良い。[12] ● 宇部方式による推進が良い。[12] ● 宇部方式による推進が良い。[12] ● 神臓受源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12] ● 神臓受源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12] ● 神臓で見とした向上の対策が難しいながらも取り組むことができている。[12] ● 神臓で見とした向上の対策が難しいながらも取り組んでいるところ。[12] ● 地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12] ● 地域資源としての工場の活用。[12] ● 地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12] ● 地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12] ● 地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12] ● 地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12] ● 地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12] ● 大導のプレーマーから、中間シスラム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12] ● た準的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12] ● 先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12] ● 推続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12] ● 先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12] ● 雑誌のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12] ● 集積のプレッの形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12] ● 集積のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12] ● 素荷のブレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]	Ä	働		
○ 藻場づくりと担い手づくりを一緒にやっているところがいい。[11]   ・				
将来の担い手のための環境教育。[11]   ・ 環境保全+人材育成、両輪として解決を目指す取り組み。[11]   ・				
<ul> <li>- 環境保全+人材育成、両輪として解決を目指す取り組み。[11]</li> <li>- 若い人の担い手づくり。[11]</li> <li>- 主体性をもった若手がさらに次を考えているのはよい。[11]</li> <li>- 世人の目の事である。「11]</li> <li>- 世人の目の事である。「11]</li> <li>- 世人の目の事である。「11]</li> <li>- 世人の目の事である。「12]</li> <li>- 世域管源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]</li> <li>- 教育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]</li> <li>- 行政、企業、その他団体が具体的に取り組むことができている。[12]</li> <li>- 宇部方式による推進が良い。[12]</li> <li>- 育政、企業、その他団体が具体的に取り組むことができている。[12]</li> <li>- 宇部方式による推進が良い。[12]</li> <li>- 佐藤・大の後と度</li> <li>- 「行政、企業、その他団体が具体的に取り組むことができている。[12]</li> <li>- 産童学民とした向上の対策が難しいながらも取り組んでいるところ。[12]</li> <li>- 体制づい。多くの団体をまとめた。[12]</li> <li>- 企業サイトの活用、企業の巻き込み)。[12]</li> <li>- 地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]</li> <li>- 東省・内の活用、企業の巻き込み)。[12]</li> <li>- 東省・内の活用、企業の巻き込み)。[12]</li> <li>- 東省・内のにしとややりつの仕組化を目指・チャレンジ。[12]</li> <li>- 関係主体の満足度</li> <li>- 「やりたいこととをやりつつ仕組化を目指・チャレンジ。[12]</li> <li>- 関係主体の高機・のの組織とからの一般に表しまっていく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>- ・ 大導的アレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>- 大場的アレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>- 大場的アレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>- 大場的アレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>- 大場的アレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> </ul>				
<ul> <li>若い人の担い手づくり。[11]</li> <li>主体性をもった若手がさらに次を考えているのはよい。[11]</li> <li>けん引後の育成を考えて活動しているところ。[11]</li> <li>ESD の取り込みの視点はいい。[11]</li> <li>多様なリソース(場、組織)の活用。[12]</li> <li>地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]</li> <li>教界/目標達成度</li> <li>宇部方式による推進が良い。[12]</li> <li>行政、企業、その他団体が具体的に取り組むことができている。[12]</li> <li>計画妥当性</li> <li>宇部方式による推進が良い。[12]</li> <li>多様なリソース(場、組織)の活用。[12]</li> <li>財像主体の巻込度</li> <li>行政、企業、その他団体が具体的に取り組むことができている。[12]</li> <li>産官学民とした向上の対策が難しいながらも取り組んでいるところ。[12]</li> <li>体制づり。多くの団体を主とめた。[12]</li> <li>企業サイトの活用、企業の環境教育への参加は重要。[12]</li> <li>地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]</li> <li>参索なリソース(場、組織)の活用。[12]</li> <li>教育委員会の参加(名ト学校、学童保育)。[12]</li> <li>参様なリソース(場、組織)の活用。[12]</li> <li>関係主体の満足度</li> <li>「深りたいこと」をやりつつ仕組化を目指すチャレンジ。[12]</li> <li>関係者の協働への理解を進めるトライ。[12]</li> <li>社会的インパクト</li> <li>従来の取組を変革によります意識がすごい! [12]</li> <li>大導的プレーヤーから、中間システム機能を有していべ歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>・ 先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していべ歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>がートナーの組織化→継続性の向上。[12]</li> <li>雑続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>がートナーの組織化→継続性の向上。[12]</li> <li>雑続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>・ 先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していべ歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>・ 先端のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>・ 先端のアレーヤーから、中間システム機能を有していべ歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>・ 先端のアレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」といまたがよりまままだけませました。またがより、「おは、「は、「など、「など、「など、「など、「など、「など、「など、「など、「など、「など</li></ul>				
主体性をもった若手がさらに次を考えているのはよい。[11]   けん引役の育成を考えて活動しているところ。[11]   ESD の取り込みの視点はいい。[11]   ESD の取り込みの視点はいい。[11]   少事性   多様なリツース(場、組織)の活用。[12]   地域資源としての工場の活用企業の巻き込み)。[12]   数事委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   対果/目標達成度   宇部方式による推進が良い。[12]   行政、企業、その他団体が具体的に取り組むことができている。[12]   宇部方式による推進が良い。[12]   「で政・企業、その他団体が具体的に取り組むことができている。[12]   を報づり、多様なリツース(場、組織)の活用。[12]   「で政・企業、その他団体が具体的に取り組むでいるところ。[12]   を離づくり。多くの団体を主とめた。[12]   を離づくり。多くの団体を主とめた。[12]   を離づくり。多くの団体を主とめた。[12]   を離づくり。多くの団体を主とめた。[12]   を離づくり。多様なリソース(場、組織)の活用。[12]   を変すしたの工場の活用(企業の参考込み)。[12]   数育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   数育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   数育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   数育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   数育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   数常の大り、「でりたいこと」をやりつつ仕組化を目指すチャレンジ。[12]   関係事体の場合のの場合を占していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   ・ た導的ブレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   継続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]   ・ た導的ブレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   ・ た導的ブレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   ・ た導的ブレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   ・ た場のアレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   ・ た場のアレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   ・ た場のアレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   ・ た場のアレーヤーがら、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   ・ た場のアレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というエール。[12]   ・ た場のアレーヤーがら、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」と述述を表し、「12]   ・ た場のアレーヤーがら、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」と述述を表しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま				
● けん引役の育成を考えて活動しているところ。[11] ● ESD の取り込みの視点はいい。[11] ● 多様なリソース(場、組織)の活用。[12] ● 地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12] ● 教育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]  効果/目標達成度 ● 宇部方式による推進が良い。[12] ● 多様なリソース(場、組織)の活用。[12] ・ 方政、企業、その他団体が良い体的に取り組むことができている。[12] ・ 事業 ・ 宇部方式による推進が良い。[12]				
● ESD の取り込みの視点はいい。[11]   多様なリソース(場、組織)の活用。[12]   地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]   教育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   行政、企業、その他団体が具体的に取り組むことができている。[12]   宇部方式による推進が良い。[12]   多様なリソース(場、組織)の活用。[12]   9 接なリソース(場、組織)の活用。[12]     佐業・大の他団体が具体的に取り組むことができている。[12]     佐業・大の他団体が具体的に取り組むことができている。[12]     佐業・大の他団体が具体的に取り組むことができている。[12]				
効率性				
地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]   教育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   学部方式による推進が良い。[12]   宇部方式による推進が良い。[12]   子部方式による推進が良い。[12]   子部方式による推進が良い。[12]   多様なリソース(場、組織)の活用。[12]   の様なリソース(場、組織)の活用。[12]   の様なリソース(場、組織)の活用。[12]   企業サイトの活用、企業の環境教育への参加は重要。[12]   地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]   の業サイトの活用、企業の環境教育への参加は重要。[12]   地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]   数育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   数育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   数育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   数育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   数育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   数育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   数育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   数育委員会の影加(各小学校、学童保育)。[12]   数育委員会の影加(各小学校、学童保育)。[12]   数「株のお田・変革しようとする意識がすごい! [12]   大導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   総続のための形・仕組みづくり、うまくいと良いですね。[12]   年齢的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   ボートナーの組織化→継続性の向上。[12]   株舗のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]   株舗のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]   株舗のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]   株舗のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]   米海的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   米海のプレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   東海は原本が表しまり組んでいるところ。[12]   大導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   東海は原本が表しまり組んでいるところ。[12]   東海のプレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   東海は原本が表しまり組んでいるところ。[12]   東海は原本が表しまり組んでいるところ。[12]   東海は原本が表しまり組んでいるところ。[12]   東海は原本は原本が表しまり組んでいるところ。[12]   東海は原本は原本が表しまり組織といるによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに				
数有委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   対果/目標達成度   宇部方式による推進が良い。[12]   宇部方式による推進が良い。[12]   宇部方式による推進が良い。[12]   多様なリソース(場、組織)の活用。[12]   多様なリソース(場、組織)の活用。[12]			が十二	
対象				
● 行政、企業、その他団体が具体的に取り組むことができている。[12]     計画妥当性			<b>効果/日煙凌成度</b>	
計画妥当性			<b>刈木/日保廷</b> 风及	
「関係主体の巻込度			計型立立を	
関係主体の巻込度			計画女ヨ注	
<ul> <li>産官学民とした向上の対策が難しいながらも取り組んでいるところ。[12]</li> <li>体制づくり。多くの団体をまとめた。[12]</li> <li>企業サイトの活用、企業の環境教育への参加は重要。[12]</li> <li>地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]</li> <li>教育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]</li> <li>多様なリソース(場、組織)の活用。[12]</li> <li>関係主体の満足度</li> <li>「やりたいこと」をやりつつ仕組化を目指すチャレンジ。[12]</li> <li>関係者の協働への理解を進めるトライ。[12]</li> <li>社会的インパクト</li> <li>従来の取組を変革しようとする意識がすごい![12]</li> <li>た導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>がートナーの組織化→継続性の向上。[12]</li> <li>未導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>た導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>がートナーの組織化→継続性の向上。[12]</li> <li>機続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>機続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>機続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>機続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>大導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> </ul>			即広ナナの米に中	
体制づくり。多くの団体をまとめた。[12]   企業サイトの活用、企業の環境教育への参加は重要。[12]   地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]   教育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   教育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   教育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   教育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   関係主体の満足度   「やりたいこと」をやりつつ仕組化を目指すチャレンジ。[12]   関係者の協働への理解を進めるトライ。[12]   従来の取組を変革しようとする意識がすごい! [12]   先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   継続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]   た導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   た導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   継続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]   継続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]   機能のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]   大導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   に関始時の状況   で言されているところ。[12]   た場的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]   に対しているに、[12]   に対しているに、[12]   に対しているに、[12]   に対しているところ。[12]   に対しているに、[12]   に対して			関係土体の巻込度	
<ul> <li>企業サイトの活用、企業の環境教育への参加は重要。[12]</li> <li>地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]</li> <li>教育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]</li> <li>多様なリソース(場、組織)の活用。[12]</li> <li>関係主体の満足度</li> <li>「やりたいこと」をやりつつ仕組化を目指すチャレンジ。[12]</li> <li>社会的インパクト</li> <li>従来の取組を変革しようとする意識がすごい! [12]</li> <li>た導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>総続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>生導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>大導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>株続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>株続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>機続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>株続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>株続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>大導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>た導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> </ul>				
地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]   教育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]   多様なリソース(場、組織)の活用。[12]				
**   **   **   **   **   **   **   **	[12]			
<ul> <li>・ 教育委員会の参加(合か子校、子童味育)。[12]</li> <li>・ 多様なリソース(場、組織)の活用。[12]</li> <li>・ 「やりたいこと」をやりつつ仕組化を目指すチャレンジ。[12]</li> <li>・ 関係者の協働への理解を進めるトライ。[12]</li> <li>・ 社会的インパクト</li> <li>・ 従来の取組を変革しようとする意識がすごい! [12]</li> <li>・ た導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>・ パートナーの組織化→継続性の向上。[12]</li> <li>・ 継続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>・ た導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>・ た導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>・ 機続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>・ 機続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>・ 株式のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>・ た事的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>・ た事的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> </ul>	う	_		
環境 コミコニテ イ	ベ	事業		
関係主体の過程度	環	未		
対会的インパクト			関係王体の満足度	
<ul> <li>在芸的インハクト</li> <li>た導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>パートナーの組織化→継続性の向上。[12]</li> <li>継続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>た導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>た導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>機続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>機続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>機続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>大導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>た導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> </ul>				
<ul> <li>光導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>パートナーの組織化→継続性の向上。[12]</li> <li>継続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>大導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>パートナーの組織化→継続性の向上。[12]</li> <li>継続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>機続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>産官学民とした向上の対策が難しいながらも取り組んでいるところ。[12]</li> <li>先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> </ul>			社会的インパクト	
ー				<u> </u>
ティー   ・				
●	_ =			
<ul> <li>● ステークボルターか、「環境教育の実践」と言う方向にまとまって向かっている点。[12]</li> <li>● 先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> <li>● パートナーの組織化→継続性の向上。[12]</li> <li>● 継続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>開始時の状況</li> <li>● 産官学民とした向上の対策が難しいながらも取り組んでいるところ。[12]</li> <li>● 先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> </ul>				
いうゴール。[12]	1		自立発展性	● ステークホルダーが、「環境教育の実践」と言う方向にまとまって向かっている点。[12]
<ul> <li>パートナーの組織化→継続性の向上。[12]</li> <li>継続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]</li> <li>開始時の状況</li> <li>産官学民とした向上の対策が難しいながらも取り組んでいるところ。[12]</li> <li>先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]</li> </ul>	1			● 先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」と
● 継続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]  開始時の状況 ● 産官学民とした向上の対策が難しいながらも取り組んでいるところ。[12] ● 先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]				いうゴール。[12]
開始時の状況  ● 産官学民とした向上の対策が難しいながらも取り組んでいるところ。[12]  ● 先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]				● パートナーの組織化→継続性の向上。[12]
開始時の状況  ● 産官学民とした向上の対策が難しいながらも取り組んでいるところ。[12]  ● 先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]				● 継続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]
● 先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」というゴール。[12]			開始時の状況	
(パラゴール。[12]				
協 実営制度の記載 ▲ フニーケナッグ ぶ 「標度数本の実践」しつませたによしてであっていても「101				
		協働	運営制度の設計	
● 行政、企業、その他団体が具体的に取り組むことができている。「12]	l a		~ LI 117/~ TV IIV III	1
	h	割		┃● 行政、企業、その他団体が具体的に取り組むことができている。「12〕
● 体制づくり。多くの団体をまとめた。[12]	ł	割		

		● 宇部方式による推進が良い。[12]
		● 企業サイトの活用、企業の環境教育への参加は重要。[12]
		● 地域資源としての工場の活用(企業の巻き込み)。[12]
		● 教育委員会の参加(各小学校、学童保育)。[12]
		● 多様なリソース(場、組織)の活用。[12]
	協働のプロセス	● 先導的プレーヤーから、中間システム機能を有していく歴史的転換→「協議会設立」と
		いうゴール。[12]
		<ul><li>パートナーの組織化→継続性の向上。[12]</li></ul>
		● 継続のための形・仕組みづくり、うまくいくと良いですね。[12]
		● 「やりたいこと」をやりつつ仕組化を目指すチャレンジ。[12]
		● 関係者の協働への理解を進めるトライ。[12]
	効率性	● 資源が山盛りでうらやましい。[13]
		● エコツアーで食と文化の発信をしている。[13]
	効果/目標達成度	<ul><li>● 農業を身近に感じる。[13]</li></ul>
		● 地域の魅力発信と生物多様性の劣化の解決のマッチングがよい。[13]
		● 松山市の保全計画との政策協働。[13]
	計画妥当性	● テーマとして生物多様性に着目していること。[13]
		● 予算もつきにくい生物多様性という視点を中心にすえて、事業を行っている。[13]
		● 生物多様性を他の視点からつなげる手法。[13]
		● 生物多様性以外のメリットを意識して活動している。[13]
		● 地域の魅力発信と生物多様性の劣化の解決のマッチングがよい。[13]
		● 目標が明確でぶれない活動を保障している。[13]
		● 旧村って早々になくならないですよね。地域・広域地域っていう捉え方が視点として良
		いなと思いました。[13]
		● 地元に密着している。[13]
		● ツアー全体のコンセプトはいい。[13]
	関係主体の巻込度	● 各セクターに問題意識を共有しようとしているのがいい。[13]
		● 風早生きもん DAYS には多くのステークホルダーが参画している点がよい。[13]
		● 小学校が加わると楽しみも増える。[13]
		● 外の人の視点が地域の良いところを地元の人に気づかせる。[13]
1	事	● 事業者が多数参画している。[13]
	<b>É</b>	● 市の計画とのリンクは行政にとっても協働を行いやすい。[13]
森		● 松山市の保全計画との政策協働。[13]
か	関係主体の満足度	● 外の組織を受け入れてもらうための内との関係構築。[13]
6		● 地元愛のある方に加わってもらっている。[13]
つ		● 個々の活動をつなぎ、広げていった手法はいい。[13]
づ		● 住民が自分たちで地域の良さを発信している。[13]
<	社会的インパクト	● 「生物多様性の保全」が最重要目的ではあるものの、ステークホルダーには直接的なア
道		プローチはせず、ステークホルダーは個々の目的に取り組みつつも結果的に最重要目
		的の達成に近づけているといった点がよい。[13]
		● エコツアーで食と文化の発信をしている。[13]
		● 旧村って早々になくならないですよね。地域・広域地域っていう捉え方が視点として良
		いなと思いました。[13]
		● 市の計画とのリンクは行政にとっても協働を行いやすい。[13]
		● 松山市の保全計画との政策協働。[13]
	自立発展性	● 自分たちの目標(生物多様性の保全)ばかり主張するのではなく、大きなスパイラルで
		理解を得た。[13]
		● 「生物多様性の保全」が最重要目的ではあるものの、ステークホルダーには直接的なア
		プローチはせず、ステークホルダーは個々の目的に取り組みつつも結果的に最重要目
		的の達成に近づけているといった点がよい。[13]
		● ステークホルダー内の担当者が変わっても事業進行している。[13]
	開始時の状況	● 自分たちの目標(生物多様性の保全)ばかり主張するのではなく、大きなスパイラルで TM 471 た 「1 4 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
		理解を得た。[13]
		● 「生物多様性の保全」が最重要目的ではあるものの、ステークホルダーには直接的なア
ţ	前	プローチはせず、ステークホルダーは個々の目的に取り組みつつも結果的に最重要目
1		的の達成に近づけているといった点がよい。[13]
	運営制度の設計	● 自分たちの目標(生物多様性の保全)ばかり主張するのではなく、大きなスパイラルで
		理解を得た。[13]
		● テーマとして生物多様性に着目していること。[13]

			● 目標が明確でぶれない活動を保障している。[13]
			● 小学校が加わると楽しみも増える。[13]
			● 外の人の視点が地域の良いところを地元の人に気づかせる。[13]
			● 事業者が多数参画している。[13]
			● 個々の活動をつなぎ、広げていった手法はいい。[13]
			● 他分野のネットワークの接続。[13]
		協働のプロセス	● 「生物多様性の保全」が最重要目的ではあるものの、ステークホルダーには直接的なア
			プローチはせず、ステークホルダーは個々の目的に取り組みつつも結果的に最重要目
			的の達成に近づけているといった点がよい。[13]
			● 各セクターに問題意識を共有しようとしているのがいい。[13]
			● 風早生きもん DAYS には多くのステークホルダーが参画している点がよい。[13]
			● 外の組織を受け入れてもらうための内との関係構築。[13]
			● 振り返りの時間を持てたことがよい結果につづく。[13]
			● 必ず行う振り返りから次へつなげていっている流れがいい。[13]
			● 協働プロセス⇔社会的学習プロセス(ふりかえり)いい。[13]
		効率性	● 町内会長が「保全の会」の会長を兼ねていること。[14]
			● 中学校の参画が新鮮でした。住民にも寄り添っているようでよい雰囲気。[14]
			● 地元の宝を守るのに企業の協力を得るという発想がいい。[14]
		効果/目標達成度	● 島外からの協力者を増やす、"外から支える"仕組み。[14]
		計画妥当性	● 問題意識・設定がユニーク。[14]
			● 現状分析&『ササユリ』を中心にしたアイデア、素晴らしい着想。[14]
			● 昔語りの縁が大事だと思います。[14]
			● 島内と島外の関係性をつなぐササユリと信頼関係。[14]
		関係主体の巻込度	● 関係者のつながり、キーワードとしての『ササユリ』の使い方。[14]
			● 町内会長が「保全の会」の会長を兼ねていること。[14]
			● 伊島というアクセス環境が悪い地域、島という閉鎖的な環境において、島の方々としっ
			かりとした関係性が築けていて素晴らしい。[14]
			● 昔のササユリの様子を見せて、埋もれていた関係性を掘り起こしたこと。[14]
			● ヨソ者の理想だけを押し付けてないところがいい。[14]
			● 中学校の参画が新鮮でした。住民にも寄り添っているようでよい雰囲気。[14]
			● 地元の宝を守るのに企業の協力を得るという発想がいい。[14]
[14]		関係主体の満足度	● 島内と島外の関係性をつなぐササユリと信頼関係。[14]
			● 住民共通の大切なものをきっかけとして、連携しているところがよい。[14]
阿 南	車		● 学校・地域に外からどう関わるか、信頼関係づくりをとても大事にされている印象を受け
市	事業		ました。[14]
KITT			● オーナー制度(里親)を作った点。[14]
賞 賛 推 進			● 昔のササユリの様子を見せて、埋もれていた関係性を掘り起こしたこと。[14]
			● ヨソ者の理想だけを押し付けてないところがいい。[14]
			● 中学校の参画が新鮮でした。住民にも寄り添っているようでよい雰囲気。[14]
		11 0 11 11 01 11	<ul><li>● 島の「嫁」信頼関係の構築がスゴイ。[14]</li></ul>
会		社会的インパクト	● 地元の宝を中心にしてやっている。[14]
議			● 地域の人がわかるもの『ササユリ』を核としたこと。[14]
1130			● みんなが大切に思っている「ササユリ」がキーになっていること。[14]
			● 現状分析&『ササユリ』を中心にしたアイデア、素晴らしい着想。[14]
			● 関係者のつながり、キーワードとしての『ササユリ』の使い方。[14]
			● ササユリというシンボルによる結集(求心力)。[14]
	-		● 島内と島外の関係性をつなぐササユリと信頼関係。[14]
		自立発展性	● はっきりした役割分担。[14]
			● 企業との役割分担を行っているところ。[14]
			● オーナー制度(里親)を作った点。[14]
			● 島外からの協力者を増やす、"外から支える"仕組み。[14]
			● 資金の問題を考慮しているところ。[14] サテの字を字るのに今業の物力を得るといる窓相がいい、「14]
			● 地元の宝を守るのに企業の協力を得るという発想がいい。[14]
		関格はの出っ	<ul><li>■ スポンサー獲得は大事。[14]</li><li>● 昔語りの縁が大事だと思います。[14]</li></ul>
		開始時の状況	
	協		● ヨソ者の理想だけを押し付けてないところがいい。[14] #のササコリの様子な見せて、押されていた関係性も関い起こしたこと「14]
	働 L	(国営制度の記せ)	● 昔のササユリの様子を見せて、埋もれていた関係性を掘り起こしたこと。[14]
		運営制度の設計	● 地元の宝を中心にしてやっている。[14]
			● 地域の人がわかるもの『ササユリ』を核としたこと。[14]

	1			
			● みんなが大切に思っている「ササユリ」がキーになっていること。[14]	
			ササユリというシンボルによる結集(求心力)。[14]	
			● 島内と島外の関係性をつなぐササユリと信頼関係。[14]	1
			● 伊島というアクセス環境が悪い地域、島という閉鎖的な環境において、島の	万々としつ
			かりとした関係性が築けていて素晴らしい。[14]	
			● 住民共通の大切なものをきっかけとして、連携しているところがよい。[14]	
			<ul><li>● 昔語りの縁が大事だと思います。[14]</li><li>● 昔のササユリの様子を見せて、埋もれていた関係性を掘り起こしたこと。[14]</li></ul>	
			■ ヨソ者の理想だけを押し付けてないところがいい。[14]	
			● はっきりした役割分担。[14]	
			● 企業との役割分担を行っているところ。[14]	
			● オーナー制度(里親)を作った点。[14]	
			■ 島外からの協力者を増やす、"外から支える"仕組み。[14]	
		協働のプロセス	● 学校・地域に外からどう関わるか、信頼関係づくりをとても大事にされているF	印象を受け
			ました。[14]	
			▶ 中学校の参画が新鮮でした。住民にも寄り添っているようでよい雰囲気。[14]	
			■ 島の「嫁」信頼関係の構築がスゴイ。[14]	
		効率性	▶ 村からの投資を県に広げた。[15]	
			● 自治体の世代を超えた農業指導員のつながりをコーディネート。[15]	
			● コアメンバーに自治体関係者を入れ活動を拡大。[15]	
			● 修学旅行など多くの人が知る機会づくり。[15]	28M) [16]
		か 田 ノロ 挿 法 代 在	● 多面的な協働でつながっている。(農=漁=行政=環境学習=観光のつなど	かり[15]
		効果/目標達成度	<ul><li>▶ 持続可能な地域コミュニティーの視点が良い。[15]</li><li>▶ 環境と観光、環境と農業とつなげて対策を実施している。[15]</li></ul>	
			● 「環境と観光、環境と展案と うなり くれれを 天地している。[15] ● 横断的に具体的な市や村をステークホルダーに巻き込んでいる。[15]	
		計画妥当性	■ 環境と観光、環境と農業とつなげて対策を実施している。[15]	
		пахан	申続可能な地域コミュニティーの視点が良い。[15]	
			<ul><li>赤土対策はきっかけという観点で、赤土対策→持続可能なコミュニティーに~</li></ul>	つなげてい
			న <sub>ం</sub> [15]	
			▶ 多面的な協働でつながっている。(農=漁=行政=環境学習=観光のつなだ	がり) [15]
[45]			● ビジョンが明確。[15]	
[15] お			▶ テーマ設定が具体的で切実で、活動の解決効果も見やすく納得感がある。[	[15]
。 き		関係主体の巻込度	● 自治体の世代を超えた農業指導員のつながりをコーディネート。[15]	
な			● 行政間のネットワーク化。[15] # 字   *** *** ** *** *** *** *** *** ***	
ゎ			<ul><li>● 農家と漁業者、対立から協働作業へ変えたこと。[15]</li><li>● 横断的に具体的な市や村をステークホルダーに巻き込んでいる。[15]</li></ul>	
グ			● 機断的に共体的な用や利をイケークホルターに各さ込んでいる。[13] ● 農と漁の協働作業、他地域への拡大の実現。[15]	
IJ	事		■ 環境・農業・漁業が協働。[15]	
Į.	業	関係主体の満足度	<ul><li>活動が環境保全から地域のコミュニティーに大きなビジョンをもっているのが。</li></ul>	よい。「15〕
ン・		社会的インパクト	→ 村からの投資を県に広げた。[15]	0 2-43
ネ			▶ 県内(全体)の問題として広げている。[15]	
ット			■ 環境と観光、環境と農業とつなげて対策を実施している。[15]	
7			▶ 赤土問題を農家に責任を押し付けず、問題をプラスの活動になる協働関係	係をつくっ
ĺí			た。[15]	
ゥ			漁業者と農業者の協働→赤土を成果としてだけでなく、きっかけとして捉	えている。
			[15]	
			● 横断的に具体的な市や村をステークホルダーに巻き込んでいる。[15] ● 農と漁の協働作業、他地域への拡大の実現。[15]	
			<ul><li>■ 農と漁の協働作業、他地域への拡大の実現。[15]</li><li>■ 協働の輪が他の自治体にまで広がり、広域での取り組みになっている。[15]</li></ul>	
			■ 環境・農業・漁業が協働。[15]	
			● 赤土対策を多様なアプローチからできる仕組みになったところがいい。[15]	
		自立発展性	■ 県内(全体)の問題として広げている。[15]	
			▶ 赤土問題を農家に責任を押し付けず、問題をプラスの活動になる協働関	係をつくっ
			た。[15]	
			漁業者と農業者の協働→赤土を成果としてだけでなく、きっかけとして捉	えている。
			[15]	
			● 協働の輪が他の自治体にまで広がり、広域での取り組みになっている。[15]	
		BB to the Called	★土対策を多様なアプローチからできる仕組みになったところがいい。[15]	
	1 12	開始時の状況	▶ 農家と漁業者、対立から協働作業へ変えたこと。[15]	

		運営制度の設計	● コアメンバーに自治体関係者を入れ活動を拡大。[15]
			● 持続可能な地域コミュニティーの視点が良い。[15]
			● 赤土対策はきっかけという観点で、赤土対策→持続可能なコミュニティーにつなげてい
			る。[15] <b>a</b> 曲点 2 次 光
			● 農家と漁業者、対立から協働作業へ変えたこと。[15]
			● 横断的に具体的な市や村をステークホルダーに巻き込んでいる。[15]
			● 農と漁の協働作業、他地域への拡大の実現。[15]
			● 修学旅行など多くの人が知る機会づくり。[15]
			● 多面的な協働でつながっている。(農=漁=行政=環境学習=観光のつながり)[15]
			<ul><li>ビジョンが明確。[15]</li><li>ここのでは、日本的の国内で、近野の知识が開え、日のよく他は成立されて、「15]</li></ul>
		カルのプロレコ	● テーマ設定が具体的で切実で、活動の解決効果も見やすく納得感がある。[15]
		協働のプロセス	● 活動が環境保全から地域のコミュニティーに大きなビジョンをもっているのがよい。[15]
			● 赤土問題を農家に責任を押し付けず、問題をプラスの活動になる協働関係をつくった。「157
			ー た。[15] ■ 漁業者と農業者の協働→赤土を成果としてだけでなく、きっかけとして捉えている。
			●
			■
			● 林業の会社が中心となってコーディネートされている。[16]
			<ul><li>● 竹林の積極的な活用。[16]</li></ul>
		MAN II MALMA	● 事業の収益性を確保することで事業の経済性と対話を高めることを目指している。[16]
		計画妥当性	● 多くの課題→整理→ネットワークづくりの流れがいい。[16]
			<ul><li></li></ul>
			● 協働により竹問題へ取り組むことで、対策が進み始めた。[16]
		関係主体の巻込度	● 自治体に担当課がないところを、つなぐことで変えていった。[16]
			● 行政の横断的な関わり。[16]
			● 現場の方と自治体に横串を指している。[16]
			● 議員(住民)の協力。[16]
			● 広い関係者に声掛けし、共有連携をていねいに行っている。[16]
			● いろいろな分野の関係者によるコミュニケーションの場をつくった。 [16]
			● モデル形成のためのパートナーシップづくり。[16]
		関係主体の満足度	<ul><li></li></ul>
			● 大学との竹林研究連携。[16] ************************************
[16]			● 新たに参加したメンバーの逆提案が興味深い。他の団体も公表しあうといい。[16]
筑		社会的インパクト	● 逆提案を引き出していったこと。[16] ● 竹問題についての一般市民への啓発。[16]
後	#	社会的インハット	-   ◆   竹問題についての一般市民への啓発。[16]   ◆   自治体に担当課がないところを、つなぐことで変えていった。[16]
Ш	事業		●   自宿体に担当課がないとこつを、つなくことで変えていった。[10]   ●   行政の横断的な関わり。[16]
流	×10		● 拍駁の傾倒的な異わり。[16]   ● 協働により竹問題へ取り組むことで、対策が進み始めた。[16]
域			● モデル形成のためのパートナーシップづくり。[16]
連			● 行政と産業のすき間としての「竹」を投資力でつないだこと。[16]
携			● 事業の収益性を確保することで事業の経済性と対話を高めることを目指している。[16]
倶			<ul><li></li></ul>
楽			● 大学との竹林研究連携。[16]
部			● ノウハウを探ってアピールすることを目指している。[16]
			● 流域の取組への発展性[16]
		自立発展性	● オフィシャルに窓口が見えた。[16]
			● 理念だけではなく、経済面も考えている。[16]
			● 経済的な視点が早くからある点。[16]
			<ul><li></li></ul>
			● 行政と産業のすき間としての「竹」を投資力でつないだこと。[16]
			● 事業の収益性を確保することで事業の経済性と対話を高めることを目指している。[16]
			● 企業からの資金の引き出し。[16]
			● 観光コースに組み込むなど問題となっている竹を地域ブランドにしている。[16]
			● 新たに参加したメンバーの逆提案が興味深い。他の団体も公表しあうといい。[16]
		BBACH CALLS	● 逆提案を引き出していったこと。[16]
	1.4	開始時の状況	● 自治体に担当課がないところを、つなぐことで変えていった。[16]
	協働	運営制度の設計	● 自治体に担当課がないところを、つなぐことで変えていった。[16]
	封		● 行政の横断的な関わり。[16]   ● 現場の方と自治体に横串を指している。[16]
			▼ 元物ッ///○日日中で独中で1日しくv つ。[10]

 1	
	● 議員(住民)の協力。[16]
	● 多くの課題→整理→ネットワークづくりの流れがいい。[16]
	● いろいろな分野の関係者によるコミュニケーションの場をつくった。[16]
	● モデル形成のためのパートナーシップづくり。[16]
	● 企業からの資金の引き出し。[16]
	● 林業の会社が中心となってコーディネートされている。[16]
	● 観光コースに組み込むなど問題となっている竹を地域ブランドにしている。[16]
	● 竹林オーナー制度。[16]
	● 大学との竹林研究連携。[16]
協働のプロセス	● 協働により竹問題へ取り組むことで、対策が進み始めた。[16]
	● 広い関係者に声掛けし、共有連携をていねいに行っている。[16]
	● ノウハウを探ってアピールすることを目指している。[16]
	● 新たに参加したメンバーの逆提案が興味深い。他の団体も公表しあうといい。[16]
	● 逆提案を引き出していったこと。[16]

[1](一財)北海道国際交流センター/[2]「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会/[3](一社)あきた地球環境会議/[4] 鶴岡市三瀬地区自治会/[5]駿河台大学/[6]辻又地域協議会/[7](一社)四日市大学エネルギー環境教育研究会/[8](株)柳沢林業/[9]ヨシネットワーク/[10]bioa(ビオア)/[11](有)日本シジミ研究所/[12](特活)うべ環境コミュニティー/[13] NPO 森からつづく道/[14]阿南市 KITT 賞賛推進会議/[15](特活)おきなわグリーンネットワーク/[16](特活)筑後川流域連携倶楽部

## 【表付録 3-2:協働ギャザリング参加者の評価コメントに基づく「プロジェクト・マネジメント」/「協働ガバナンス」の提案・改善点】

	・フロンエンド・マイングンドコン・「励働) 提案・「	
	「プロジェクト・マネジメント」(事業)	「協働ガバナンス」(協働)
[1北海道国際交流センター	<ul> <li>アンケート結果を会議や関係者だけではなく、住民向け外部向けに発信を。[1]</li> <li>北海道南部の自然の観光スポットはここ!というアピールができるのではないか。[1]</li> <li>アオコは全国に多々類似課題→拡充要。[1]</li> <li>アオコ問題とアンケートのキーワード一致は?[1]</li> <li>保全、科学的な課題はどうなった[1]</li> <li>アオコの解決にはハード面の整備も必要では(水質改善)。[1]</li> <li>観光と保全のバランスをどうとっていくのか。[1]</li> <li>環境と観光のつながりはどうするの?地場産の活用?[1]</li> <li>市役所の中で保全計画+ワイズユースは揉めなかったのか。どう説得(した)するのか。[1]</li> <li>ワイズユースの説明が尽くされていないとの印象があった[1]</li> <li>中間支援などの「お金」がなくなったらdriving forceは?そこがポイントかも。[1]</li> <li>アンケート結果を今年度事業に使えるのか?[1]</li> <li>環境保全計画のワイズユースのインプットを前半にやった。アンケート結果の活用はこれから?。[1]</li> </ul>	<ul> <li>人間模様の改善による変化の可視化。[1]</li> <li>各会議の統合法は?なければやってみたら?[1]</li> <li>プロセスに地域の人がどれだけ関わったか疑問。 [1]</li> <li>知識とディスカッションの連動は?→地域のモチベーションはあがったのか?[1]</li> <li>地域での共感をひろげるプロセスを![1]</li> <li>地元の主体性を高めることにつながらない?→全員が関心を持つわけではない。[1]</li> <li>アンケートのプロセス・結果の両方が協働に重要![1]</li> <li>知識基盤追求型パートナーシップ。[1]</li> <li>女子会なの?女子をうまく使うということ?[1]</li> <li>結局こじれた関係はどうなのか?[1]</li> </ul>
[2]人と海鳥と猫が共生する天売島連絡協議会	<ul> <li>● 島内の生態系調査も併せて行うといい。[2]</li> <li>● ネコはいたほうがよいのか、もともと(昔から)いたのか、頭数、影響などデータ分析をしても良い。[2]</li> <li>● ネコ、ネズミ対策を兼ね、人口減少や街並みの維持のために空き家対策はできないのか。[2]</li> <li>● ネコーネズミーウミネコ&amp;人の意識について、今後のモニタリングを期待したい。[2]</li> <li>● 人の問題をどう伝達したのか(科学的なところ)[2]</li> <li>● ネコとネズミを通してつくられつつある新たなコミュニティーの生かし方と次の展開は?[2]</li> <li>● 島外の人との接点を明確にしては?外の人のニーズを喚起する。[2]</li> <li>● 今のネコブームに乗って、もっと観光面や島外の方へ譲渡されるほうが続きやすい。[2]</li> <li>● やり方がすぐわかるようなネーミング。[2]</li> <li>● 本の発信によるインバウンドの取り込み。[2]</li> <li>● 海外への発信によるインバウンドの取り込み。[2]</li> <li>● 本コ対策の団体とのネットワーキングをぜひ。[2]</li> <li>● 経験とノウハウを他の島に輸出してほしい。[2]</li> <li>● 全国にノラネコ問題があり、共有してほしい。[2]</li> <li>● 全国にノラネコ問題があり、共有してほしい。[2]</li> <li>● 全国にノラネコ問題があり、共有してほしい。[2]</li> <li>● 対別調査の成果・展開のプロセスを聞きたい。[2]</li> <li>・ ネコの手術費をどう出すのか。[2]</li> </ul>	<ul> <li>常識を統一することは難しいが、「意識」を変える活動が増えるといい。[2]</li> <li>予想外の人のつながりが生まれているように思うけど、その変化を島民は受け入れられているか。後ろ向きな人はいないか。[2]</li> <li>島という独特の環境で、住民と自然環境にとっての落としどころを探すのは難しいだろう。[2]</li> <li>海鳥というすばらしい資源があるということに対して、島の人にプライドを持ってもらうことはできないか?[2]</li> <li>島の議論の場が持続可能かどうか?連絡協議会の参加者を味方につける手法にインターネットを使うとしたら?[2]</li> <li>「理解する」ことと「課題が解決する」ことの違いはいずれ大きくなるのでは?[2]</li> <li>行政の現在の立場・役割はどうなっているのか?住民との関係は?[2]</li> <li>地域の自治、地域づくりとしてのノウハウは?工夫は?を発信いただきたい[2]</li> </ul>

	● イノベーションにもっと異分野の人の参加を。[3]	<ul><li>★ハガキをつくるためのプロジェクトに映った。地域</li></ul>
	● 森林保全や CO2 削減等環境への影響を定量評価で見えると分かりやすい。[3]	がどう関わったのか知りたい。[3] <ul><li>ステークホルダーのモチベーションどう継続させてい</li></ul>
	● 社協が入ることで、災害対策と結び付けていくことも	くか。[3]
	できるのでは。[3] ● SDGs を通して整理することで、大企業、海外が注目	ステークホルダーの広がりを実現する際のテクニックを知りたい。[3]
[3]	してくれる可能性がある。[3]	● 資金ぐりはどのようになっているのか。[3]
あき	● 「卒業証書」や「くでじゅう」を作ったらどうか。 [3] ● 引きこもり以外の障害の人との連携可能では。 [3]	● 学校教育とのつながりに期待する。[3] ● 協定締結による効果が知りたい。業者たちの声も聞
た	● 引きこもり以外の障害の人との連携可能では。[3]     取組を波及させられるといいですね!! [3]	● 協定締結による効果が知りたい。業者たちの声も聞きたい。[3]
地	● 環境教育をもっと前面に出す必要がある。[3]	● 協定の活かし方、次の展開が期待される。[3]
球理	<ul><li>木はがきに絵を描いてみたい→絵画展とかもできる</li></ul>	
環 境	かも。[3]	
会	● 物から入った?→どういうアイデアで人をつないだ	
議	の?ハガキは使うの?[3]	
	● 具体的な成果はどのようになっているのか?[3] ● 10 人に 1 人が引きこもりって、一般的に多いのか少	
	ないのか?その辺の前提がよくわからない。[3]	
	<ul><li>地域活性化=経済活性化になるのでは?[3]</li></ul>	
	<ul><li>★業の持続性は?森林の中には入られていないの?[3]</li></ul>	
	● 森林を手入れすることによる経済効果もみる。[4]	● 実行に踏み切れない理由を解析、小さいモデル事
	● 市役所にお願いして地方創生事業としてボイラー導入してはどうか。[4]	業の積み重ね。[4] ● 連携拡大がすごい一方で、まとめるのに良い方法が
	● 官庁や学校であればハード事業で補助事業ができ	見つかるといい。[4]
	るのはでないか。[4]	● "協力する"お客様から"実行する"自分ごとへの転換
[4] 鶴	● 地域のエネルギー自立にむけた政策に発展させて ほしい。[4]	はむずかしいが、そのためのこの事業。[4] ● やもすると自治会活動はやらされている意識が多
置	● 高齢化で動ける人が少なくなっていく中この活動が	い。その意識改革の手法をもっと知りたい。[4]
市	10年後に続いているものなのか?[4]	● 取組に資金が必要なのに、資金源のカウンターパー
三瀬	● 直接その言葉は使わないとしても SDGs のむら/まちを標語として目指すこともありえる?。「4〕	トがない。[4] ● 地銀や信金には話をしているか?[4]
地	● 低炭素というキーワードで内外をもりあげたら?[4]	● ファンドの活用とか?出身有名人をつかうとか?[4]
区	● 1.1 億+使われ方の全体像(フルコスト)を洗い出すことで、出口が見えるかも。「4〕	<ul><li>1500 人の村でなぜそんなに多くの参画?その秘訣は?「4]</li></ul>
自治	● 具体的なことはこれからに期待する。[4]	
会	● 100 年単位は周りの変化(自然環境、政府・政策)が	たい。[4]
	生じる可能性が高いので、不安。目が届くのは 50 年 くらいか。[4]	● 地元の方は賛同しているのか。[4] ● 1.1 億に加えて、脱石油燃料で大気汚染もなくなると
	● 薪ボイラーを導入する際の何らかの補助、融資など	■ 1.1 億に加えて、就有価燃料で入れ行来もなべるこ いえるのではないか。[4]
	の検討をしているか。[4]	● 他自治会への展開は?市としての位置づけ[4]
	● 使った木を再生する仕組みは?(植林)[4] ● 都市近郊ならではの工夫、アイデア、パートナーまき	<ul><li>隣の市などとも協力関係をしてみてはどうか。[4]</li><li>ワークショップで「地域の好きなところ」さがす→共</li></ul>
	こみの必要性がある。[5]	有。[5]
	● ムーミンとの協働。[5]	● 外部のステークホルダーから再度魅力の確認をして
[5] 駿	<ul><li>● (一社)里山こらぼ事務局はどこが担うのか?[5]</li><li>● 課題対策型なのか地域活性化なのか、明確な目標</li></ul>	もらってはどうか。[5] ● 台風の目が何人かいたらいい。[5]
	は何か。[5]	<ul><li>なぜそんなに集まるのか。地域のつながりをつくった</li></ul>
	● 地域の受入体制拡充と移住誘導があるとよい。[5]	のは、担当者がいたからできたのか?他の要因は?
河台	<ul><li>拠点(点)→全体(面)にする見通しは? [5]</li><li>大学としての発信力の活用。[5]</li></ul>	[5] ● 組織システムの持続性はどうか。[5]
大	● 空き家、農地、森林の法律との関係性は? [5]	◆ 大学主体の取組だったところから、地域がどう変わっ
学	● 雇用されても低賃金では意味がない。やりがいだけ	たのかを知りたい。[5]
	で腹は満たされない。[5] ● 自然学校から雇用を創造する。西武とのコラボなど	● 大学のこれからのかかわりは?一社の中での役割は? [5]
	あれば、都会から人が来やすい。[5]	● 事業者とのつながりをより深くしたらどうか。[5]
	● 飯能市がブランド化するといい。[5]	<ul><li>課題が何かしりたい。[5]</li><li>休兄の人たれの反応はどうぎったか、「5]</li></ul>
	● この先のゴールが楽しみ。[5]	● 住民の人たちの反応はどうだったか。[5]

	● 外に向けた PR をより積極的に行う必要性有り。[6]	● 内側にいる者からは魅力は気づきづらい。ちゃんと
[6] 辻又地域協議会	<ul> <li>"辻又"は分からないけど、"魚沼"は分かる。魚沼という名前をもっと利用したらいいのでは。[6]</li> <li>空き家の管理などもやっては?[6]</li> <li>できれば「環境」をもっと強調してほしい。[6]</li> <li>住民自身が地域の良さ、そこで暮らす誇りの復活。[6]</li> <li>住人が少ない中で、地域おこし協力隊のパワー、年齢構成などが知りたい。[6]</li> <li>地域住民にとって金が回る仕組。協力体制を構築することが重要なのでは?[6]</li> <li>住民1人1人が主役になるイベントをリレー形式で、開催してみる。[6]</li> <li>今回集まったメンバーに少子化という共通点があるので連携してみたらどうか。都会から「孫」を参加させる仕組みが創れないか?[6]</li> </ul>	<ul> <li>説明し、ほめるべきでは?[6]</li> <li>行政の行政課題への理解も大切。[6]</li> <li>地域住民のやる気がなければ、中止してもよいのでは?[6]</li> <li>一度にまとめるのではなくて、年代別に区切ってみてはどうか?[6]</li> <li>[42 名で地域ビジョンを作っては?田や村の他の案件についても。[6]</li> <li>42 名で地域ビジョンを作っては?田や村の他の案件についても。[6]</li> <li>結集のシンボルとなる活動ができるといい。[6]</li> <li>地元住民が課題を共有、実行するシステム。[6]</li> <li>住民の主体性が向上した具体的な取組とは。[6]</li> <li>協議会運営の苦労は?変わったのか?[6]</li> <li>一般化と特殊化。協働の魅力をどう作るか?[6]</li> <li>地元以外の人々との取組。[6]</li> </ul>
	<ul> <li>シニアが意識してジュニア呼び込む。[7]</li> <li>事業成果の可視化を楽しみにしています。[7]</li> <li>具体的な目標は何か。[7]</li> <li>シニア世代は若者世代にどのようにアプローチするのか?[7]</li> <li>シニアで回しているので、シニアが動けなくなったら活動が終わる。[7]</li> <li>竹の使いかたを伝える。伝統文化としての地域資源。[7]</li> <li>セルロース、ナノファイバーの導入とか。[7]</li> <li>四日市全体の取組にするのが重要では。[7]</li> </ul>	<ul> <li>一般化と特殊化。どう協働のモデルにするか。[7]</li> <li>シニアの持続性は?[7]</li> <li>次の時代に問題を回す。広がりを作る。[7]</li> <li>環境教育の団体と他の分野の人との繋がりはどのように作っているのか?[7]</li> <li>シニアの会にユースは入りにくい。次につなげるには?[7]</li> <li>結局インセンティブは何なのか。[7]</li> <li>この人たちがどのようにして集まったのか?[7]</li> <li>若手にも力をかしてあげているのか?[7]</li> <li>活動を持続していくための基盤となる体制(法人?)がほしい。[7]</li> <li>取組をつづける担い手は?[7]</li> <li>若者が入れる仕組みは作れないの?[7]</li> <li>やはり若手の巻き込み。[7]</li> </ul>
[8] 柳沢林業	<ul> <li>持続性は、見込み、展望があるのか。[8]</li> <li>木こり教室への他の町からの参加。[8]</li> <li>今後の展開が良く分からない[8]</li> <li>最終目標は何を目指しているのか?[8]</li> <li>養成講座の組み立て方。養成した人材の活躍場所の整備。[8]</li> <li>いくつかのプログラムを作ってみてはどうか。[8]</li> <li>SDG'sの 17 のターゲットを利用して、CSU を出してみてはどうか。[8]</li> <li>具体的成果を是非アピールしていただきたい。[8]</li> </ul>	<ul> <li>● 福祉以外の気の使い方を教えてほしい。[8]</li> <li>● 交流人口はどうか?[8]</li> <li>● まち(人口多い)や大学ともっと繋がる。[8]</li> </ul>
[9] ヨシネットワーク	<ul> <li>きちんとしたエコツアーを開発する必要がある。[9]</li> <li>外国人観光客への対応が重要。[9]</li> <li>京都観光客とエコツアーの連関強化が必要。[9]</li> <li>小規模でもヨシ産業の復活を仕掛けられるといい。 [9]</li> <li>ヨシの可能性を事業化の方向で考えているか?教材化だけではなく。[9]</li> <li>エコツアーだけで持続可能な社会に貢献しうるのか、プログラムの設計を再度検討する必要あり。[9]</li> </ul>	<ul> <li>協働したことでの新しいプログラムの価値をどう見せていくか。協働の強みを活かす必要あり。[9]</li> <li>みんながいたから何か変わったのかを可視化させる必要あり。[9]</li> <li>協働取組の体制づくりのノウハウを知りたい。[9]</li> <li>若い世代の積極的なまきこみが重要。[9]</li> <li>大学との協働(学生、課題ノウハウ)が必要。[9]</li> <li>5年後に活動がどうなっているか?形骸化しないか?[9]</li> </ul>
[10] bioa	<ul> <li>高速・ダムと自然再生の関係は?[10]</li> <li>なぜ環境教育が必要なのか?必要だが各施設ででもできるのでは。[10]</li> <li>課題設定が多すぎる?環境教育の活性化は地域活性化&amp;協働に資するのか?[10]</li> </ul>	<ul> <li>活動の活性化を期待しているのは行政ではないか?住民の姿が見えない。[10]</li> <li>行政、市との連携に興味がある。[10]</li> <li>市の施設を請け負って団体が実施しているように思える。各参加団体の取組内容を教えてほしい。[10]</li> </ul>

	<ul> <li>"環境教育"の目的は、観光促進?ブランド化?郷土愛では?[10]</li> <li>環境省全国事業として茨木市の文脈からどう市内外と繋がっていくか?[10]</li> <li>堅い行政色がとても強いのでもう少し柔らかい取組を前面に出すと良い。[10]</li> <li>小学校単位で教材化する上での苦労は?[10]</li> <li>市の地域学習の資料集に入れるなど学校教育への位置づけを強化できるといい。[10]</li> <li>開発による自然環境への影響も教材、学びの場になりそう。[10]</li> <li>公共事業と地域の軋轢は?[10]</li> <li>愛を見つけるだけではなくリスク(特にダムとか)も学びにしてほしい。[10]</li> <li>島内で完結できるシステムは可能か?[11]</li> </ul>	<ul> <li>茨木の課題を抽出したわけではない[10]</li> <li>教育委員会や教員のまき込みは?[10]</li> <li>小学校教育との分担は?学校教育の中にあるものは。bioa の強みは?[10]</li> <li>多種多様なステークホルダーとの関係を持つことが市民活動の活発化につながる。[10]</li> <li>採択団体とのつながりのみで、他団体と団体のつながりが無いと活動が広まったり、違う活動が生まれない。[10]</li> <li>各ステークホルダーの共通のビジョンは?[10]</li> <li>3年後の理想像に向けた具体的なロードマップを示して、ステークホルダーの共感を得ているか?[10]</li> <li>大成功の姿を定量的、具体的に描くと役立つ。[11]</li> </ul>
[11]日本シジミ研究所	<ul> <li>税金を使う事業なので地域への貢献を明確にしてほしい。[11]</li> <li>島内完結モデル+αの"α"を島民で考える。[11]</li> <li>目標が島民に伝わりにくいのでは?わかりやすく伝える必要がある。[11]</li> <li>具体的な「将来の隠岐の島像」がほしい。[11]</li> <li>外の学生の取り込みが必要では。[11]</li> <li>全国各地の藻場再生をやっている地域、離島とつながってノウハウを盗めないか。[11]</li> <li>ESDの視点を導入してどうでしたか?[11]</li> <li>北海道三笠市ではジオ推進協が軸となって教育委員会とつながっている。[11]</li> <li>海だけでなく、山からも参加を求めてはいかがか。[11]</li> <li>ESD 教育の視点+SDGs の視点をより取り入れる必要がある。[11]</li> </ul>	<ul> <li>交通障害を越える情報技術の導入は?Skype など。 [11]、会議に ICT を利用しては?[11]、会えないからこそ他より突出した何か別のコミュニケーション手段があるのでは?メール、TEL、FB など。[11]</li> <li>けん引役を島の中に置かないといけない。[11]</li> <li>島という条件不利をクリアするために地域内のまとめ役の存在が必要。[11]、交通のハンデがあるのであれば、島民でやってくれる人を重点にするべき。 [11]、研究所の方が島民になるとか。[11]</li> <li>島内で住民をつなぐゆるいイベントをやっては。[11]</li> <li>島からではの協働の発信(島々で共有)。[11]</li> <li>いかに地域の内発的な取組にしていくか。[11]</li> <li>中般の人が藻場にはどう関われるのか?技術的に関われる人が少なそうだが、環境や地域のことを学ぶところで関わるということもある。[11]</li> <li>教育の縦割りに苦労したとのことであるが、どう解決していったのか?[11]</li> <li>なぜシジミ研究所が取り組んでいるのか?[11]</li> <li>なぜシジミ研究所が取り組んでいるのか?[11]</li> <li>行政との連携はしないのか?[11]</li> </ul>
[12] うべ環境コミュニティー	<ul> <li>環境教育の究極の姿を定義するとユニークさが出るかも。[12]</li> <li>体制づくりと共に ESD 的なテーマ横断・手法の活用もして行ってはどうでしょうか?[12]</li> <li>PR 方法の工夫をする必要がある。[12]</li> <li>取組がとてもカタい感じがします。(通常)環境意識の低い一般の方を相手に理解を求めるなら、もっと柔らかい取組を前面に出すべきだと思います。[12]</li> <li>ネットワークによる学校教育を含む、ESD の「宇部方式」の確立を期待する。[12]</li> <li>公害資料館ネットワークに入ってみてはどうか?[12]</li> <li>宇部方式にはどのような課題があるのか? [12]</li> </ul>	<ul> <li>自主的な取組を促すのは難しい。キーマン、コアメンバーによる提案が必要。[12]</li> <li>ステークホルダーが課題を共有できているか?[12]</li> <li>環境教育で子どもを育てた後のアウトカムを目標にして、地域の良さを知ることで、大学で他県に行った人が地元に戻るとか。宇部は良いところなので、宇部のための何かをやってくれる人材を育成するなど、先のビジョンが力になる。[12]</li> <li>宇部方式をより意識して環境教育から SDGs、地域づくり(ESD)、人づくりに広げた協議会へ。[12]</li> <li>宇部市の魅力 PRをすべきではないか?環境に限らないで。[12]</li> <li>地域住民の視点をもって取り入れてはどうか。[12]</li> <li>地域住民の視点をもって取り入れてはどうか。[12]</li> <li>カース、若い人を巻き込みたい。[12]</li> <li>教育プログラムに参加者が関わる仕組みは?[12]</li> <li>環境教育活動の延長。協働の意味合いは。[12]</li> <li>学校教育との連携。[12]</li> </ul>
[13] 森 からつづく	<ul> <li>市の政策への位置づけを強化できるといい。(環境政策に加えて農政観光政策等も含めて)[13]</li> <li>生物多様性取組の詳細な点を知りたい。[13]</li> <li>生物多様性の現状把握はできているか。[13]</li> <li>生物多様性の保全の効果の可視化。[13]</li> <li>生物多様性と食文化などとの関係がわかりやすく伝わるツールの開発が必要。[13]</li> </ul>	<ul> <li>昔からの住民の反応はどうか?パートナーのとりまとめは大変ではないか?[13]</li> <li>その地域の「生物多様性」についての意識共有は、どうやっていますか?[13]</li> <li>価値の再確認を見える化しては?[13]</li> <li>この事業があったことで、松山市が北条地区活動について知る、活動を活かすきっかけになった。[13]</li> </ul>

道	● 生物多様性が地域資源であることを交流者にも認識	
	してもらうべき[13]	
	● 生物多様性が保たれることにより、自然体験による人	
	材育成、気づきがえられるなど、伝わりやすい言葉を	
	考える必要がある。[13]	
	● 2年目を終えられて、今後の持続性は?[13]	
	● "交流人口"が鍵ですね。[13]	
	● 外部の人に向けに、地域の農産物を使った食の提供するまた。	
	供を検討している。[13]	
	● 発信が続くしくみ作りが必要。[13]	■ 唯一在日はとして前していてのでしょことの「147
[14]	<ul><li>● 昔はよくて、では今はだめなのか?[14]</li><li>● まままりにしてほしょ。[14]</li></ul>	● 地元住民はこれを望んでいるのでしょうか?[14]、
冏	● 未来志向にしてほしい。[14]	島内は過疎やササユリをどう捉えているのか、問題
南	<ul><li>■ ここまで小規模の村だと継続しないと思う。[14]</li><li>● 天売島には海士町訪問をきっかけに生まれた「(一</li></ul>	にしているのか。[14] ● 島の恊働取組で互いに学ぶ機会を。[14]
市	<ul><li>→ 入売局には毎エ町前向をきつがりに生まれた「一 社) 天売島おらが島活性化会議」があるので情報交</li></ul>	● 島の恊働取組で互いに字ぶ機会を。[14] ● 「ササユリ保全」のその先の生物多様性や持続可能
KITT	性が大元島の5か島位性化云巌」があるので情報交換できれば。[14]	な地域ということで合意することが重要。[14]
賞	<ul><li></li></ul>	<ul><li>は地域ということで言思することが重要。[14]</li><li>島外にいくつかパートナーを持てるといいですね。</li></ul>
賛	<ul><li>★ 大学をステークホルダーに巻き込んで、ササユリの</li></ul>	■ <i>歯外にいくりがハードナーを持てるといいしすね</i> 。 [14]
推	価値づけをしてみては?[14]	■ 過疎の島のモデルを敷衍するのはどうできるか。
進	<ul><li>● 徳島全体、関西圏を巻き込む取組にする。[14]</li></ul>	[14]
会	● 「事務局の強化」「費用の見込み」というキーワード	<ul><li>● ササユリをどれだけ町の、島のブランディングに活か</li></ul>
議	が詳しく知りたい。[14]	しきれるか。[14]
[15]	<ul><li>● 農業環境コーディネーターとはどのような役割を有し</li></ul>	● 旅行者が取組を知る機会をつくれるといい。[15]
お	ているのか?[15]	<ul><li>行政、役所の方々とすんなり参加してくれたのか。何</li></ul>
き	● 自治体職員がコーディネートしていけるか。[15]	かハードルがあったのか。[15]
な	● 赤土流出の本質的原因やメカニズムの解明をする	● 事業関係者が多いようにみえるが、市民はまきこむ
ゎ	必要がある。[15]	のか?何か市民と協働しては?[15]
グ	● 取組で流出をどの程度とめられたのか?[15]	● 赤土流出という課題を具体的にどう外部へ伝えてい
IJ	● 情報が集まれば将来的に収入につながりそう。[15]	き、協力者をえていくのか。[15]
	<ul><li>● 農水省の関与も必要ではないか。[15]</li></ul>	
ン・	● 元となるお金はどう生まれる?[15]	
ネ		
ッ		
١		
ワー		
ーク		
[16]	● 有明海の保全をしている人と繋がる。[16]	<ul><li>     竹林問題を自治体の部署横断でさせるのは難しい </li></ul>
筑	● イノシシの問題はあるのか? [16]	のでは、スムーズにできたか?[16]
後	● 久留米ラーメンとシナチクで使い方を考える。[16]	<ul><li></li></ul>
川	● タケノコ産地をもっとアピールしてよいのでは?[16]	<ul><li> 流域連携とはどのように関連づけられているのか</li></ul>
流	● タケノコの販売はどうしているのか、まだできていな	[16]
域	いのか、ではどのようにするのか。[16]	● ステークホルダーに住民の姿が見られない。ボラン
連	● BOP ビジネス化はあり得るのか? [16]	ティアガイド以外との関わりは?[16]
携	● 竹は減るのか?[16]	● 山主はどういう関わり方をしているのか。[16]
倶	<ul><li>どう事業化するのか?伐採した竹の行方は?[16]</li></ul>	<ul><li>事務を全てさばくのはすごく大変そう。事務局は回っ</li></ul>
楽	● 竹の価値再発見するイベントをしては?[16]	ていけそうか?[16]
部	● たけのこ製品コンテントの開催はどうか[16]	
	オ)北海道国際交流センター/[2]「人と海島と猫が共生するヨ	

[1](一財)北海道国際交流センター/[2]「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会/[3](一社)あきた地球環境会議/[4] 鶴岡市三瀬地区自治会/[5]駿河台大学/[6]辻又地域協議会/[7](一社)四日市大学エネルギー環境教育研究会/[8](株)柳沢林業/[9]ヨシネットワーク/[10]bioa(ビオア)/[11](有)日本シジミ研究所/[12](特活)うべ環境コミュニティー/[13] NPO 森からつづく道/[14]阿南市 KITT 賞賛推進会議/[15](特活)おきなわグリーンネットワーク/[16](特活)筑後川流域連携倶楽部